

平成 5 年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日総会決議 〈改訂〉 主文)

図書館員の倫理綱領

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

社団法人 日本図書館協会

(1980年5月4日総会決議)

平成5年版

数字で見る図書館活動

目 次

I 調布市の概況	1
1 人 口	1
2 予 算	4
II 図書館の概況	9
1 運営方針	9
2 平成4年度 図書館活動	9
3 施設概況	12
4 図書館配置図	13
III 各館の概要	14
IV 各館の事業	20
1 子ども対象の事業	20
2 成人対象の事業	23
V 蔵書の状況	24
VI 利用の状況	28
1 登 録	28
2 市内小中学生の登録状況	31
3 貸 出	37
4 予約・リクエスト	39
5 活動実績	41
VII ハンディキャップサービス	42
1 朗読サービス	42
2 点訳サービス	45
3 大型活字本・拡大写本サービス	45
4 子どもへのサービス	45
5 PR活動	46
6 ボランティアの養成とボランティアグループ	46

VIII 集会・学習活動	47
1 集会・学習活動の状況	47
2 行 事	47
3 第21回図書館まつり	50
4 調布ブッククラブ	52
IX 視聴覚ライブラリー	58
1 事 業	58
2 視聴覚教材・機材の利用状況	59
X 将来計画と新中央図書館構想	62
XI 資 料	68
1 運営組織	68
2 分掌事務	68
3 開館日と休館日	69
4 開館日数と開館時間	69
5 組 織 図	70
6 年度別職員数の推移	70
XII 年 表	71

I 調布市の概況

昭和30年、調布町と神代町が合併して調布市が誕生した。

この地域では、多摩川の清流を利用して、昔から布づくりが盛んに行われていた。この布は税である調として、朝廷に納められ、調布（たつくり）の名で呼ばれた。調布の名称はこのように布の産地であったことと、律令制度による調として布が納められたことに由来している。

調布市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。市域の広がり、東西7km、南北5.7km、面積21.53km²で、東京都全体の約1%にあたる。市の東西方向には京王線と甲州街道が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断している。副都心新宿へも、東へ15km、京王線の特急で15分という典型的な近郊住宅都市である。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地に広がっている。土地の高度は神代植物公園北方の台地が最も高く海拔57m、南の多摩川沿いの染地が最も低く、海拔24mとなっている。



1 人口

平成5年1月1日現在、調布市には193,647人が住み、人口密度8,994人/km²で過密状態である。増減を見ると、近年はほとんど自然増だけで横ばい状態であるが、転入転出が激しく、4年度は合わせて年間26,500件にも達している。また、年齢別の人口構成は、0歳から64歳までは変化が少ないが、65歳以上の人口は、着実に増加している。平成5年1月1日現在、65歳以上の人は19,487人で総人口の10.1%に達しており、調布市も高齢化社会への移行が着実に進んでいることがわかる。

調布市の人口推移表（表1-1）

（数値は1月1日現在）

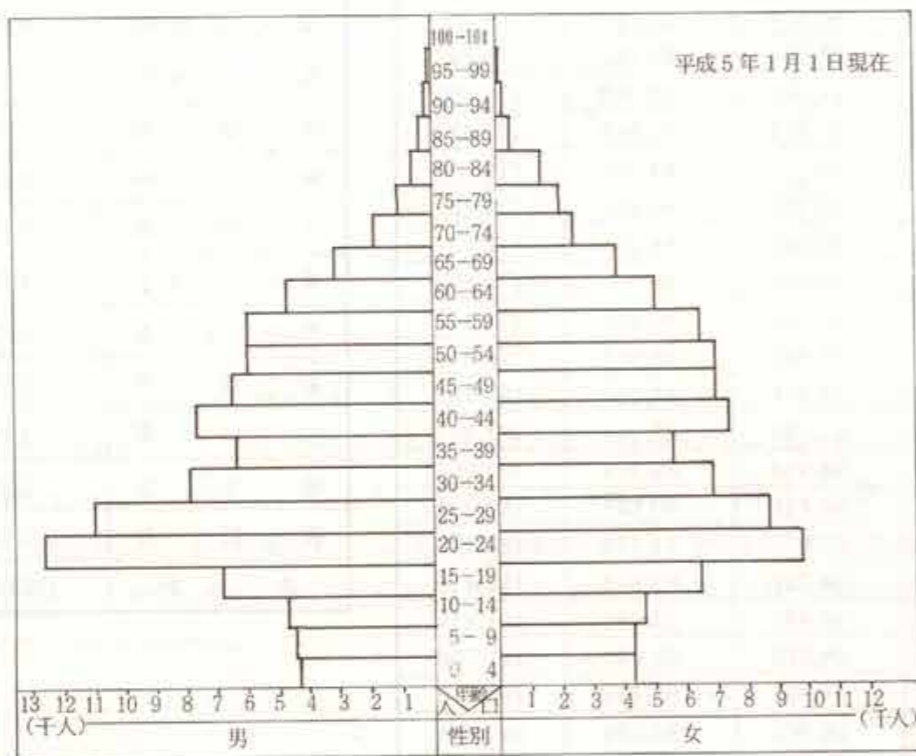
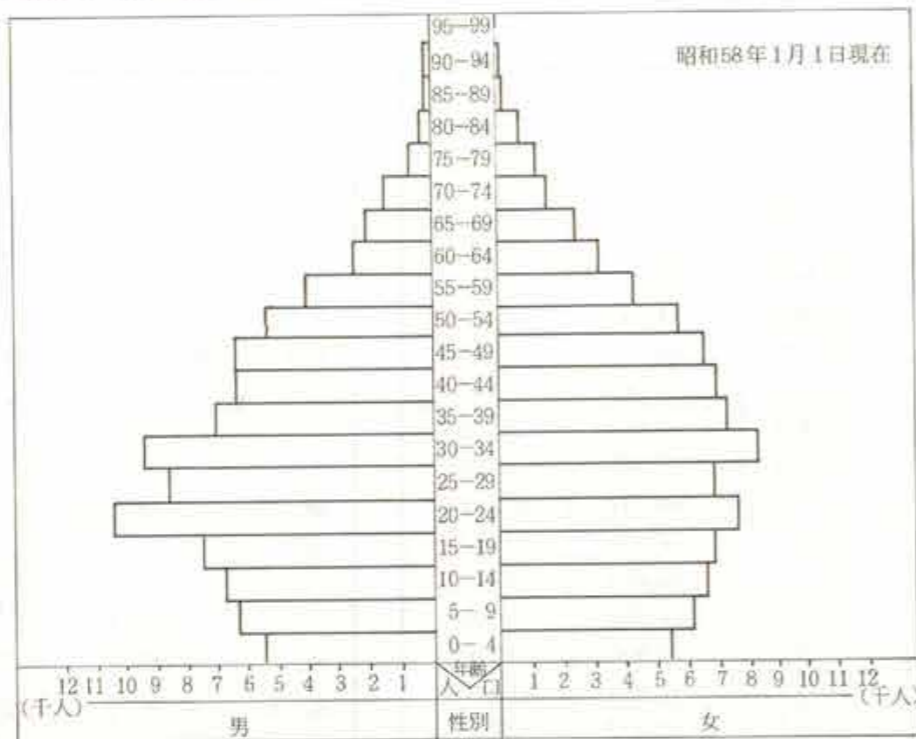
	男	女	合計
S 30	22,755	22,335	45,090
31	23,816	23,255	47,071
32	25,783	25,208	50,991
33	27,594	26,904	54,498
34	30,584	29,315	59,899
35	32,385	31,910	64,295
36	35,425	34,369	69,794
37	39,107	36,760	75,867
38	42,854	40,634	83,488
39	48,278	45,566	93,844
40	52,736	50,247	102,983
41	61,145	58,499	119,644
42	67,434	65,024	132,458
43	70,951	68,860	139,811
44	74,545	71,992	146,537
45	78,250	75,259	153,509
46	81,417	77,609	159,026
47	83,201	79,243	162,444
48	86,514	82,116	168,630
49	88,094	83,187	171,281
50	87,684	82,922	170,606
51	87,819	83,613	171,432
52	88,272	84,338	172,610
53	89,305	85,200	174,505
54	89,806	85,225	175,031
55	89,655	85,035	174,690
56	90,612	85,537	176,149
57	91,863	86,951	178,814
58	92,971	87,760	180,731
59	93,789	88,153	181,942
60	94,914	89,339	184,253
61	96,645	90,599	187,244
62	97,977	91,770	189,747
63	98,757	92,653	191,410
64	98,830	92,981	191,811
H 2	98,678	93,031	191,709
3	98,584	93,434	192,018
4	98,960	94,078	193,038
5	99,115	94,532	193,647

町別人口（表1-2）

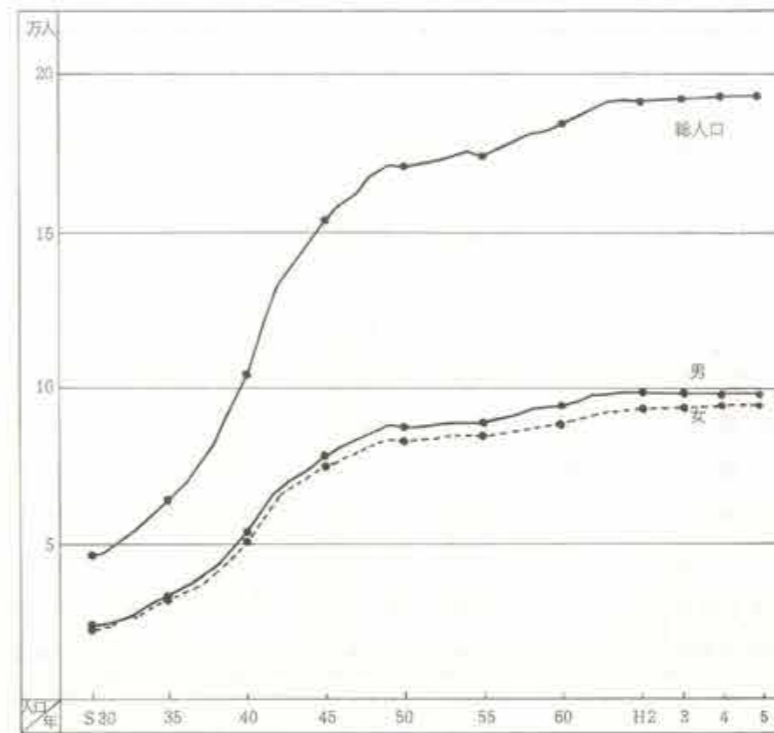
（H 5. 1. 1 現在）

町名	人口
飛田給(野水・西町を含む)	6,618
上石原	8,229
下石原	8,094
多摩川	11,670
富士見町	9,679
小島町	8,167
布田	9,664
調布ヶ丘	6,875
国領町	20,140
八雲台	2,810
染地	15,012
深大寺元町	4,680
深大寺北町	6,024
深大寺東町	9,308
深大寺南町	3,172
佐須町	4,916
柴崎	7,116
入間町	7,186
東つつじヶ丘	4,760
西つつじヶ丘	13,979
若葉町	5,333
仙川町	4,992
緑ヶ丘	7,731
菊野台	7,492
合計	193,647

年齢別男女別人口構成 (図1-1)



調布市の人口の推移 (図1-2)



2 予 算

調布市は、平成2年度からスタートした基本計画に基づき、3つの「み(みち・みどり・ごみ)」を計画事業の中心として、自然と歴史に恵まれた環境整備・都市基盤を基調とし、さらに高齢化社会を展望した福祉、調布らしさを育む教育・文化・産業などを引続き重点施策の基本としている。

図書館費について見ると、平成4年度決算額は3億4,593万円で前年度に比べて6,400万円余減額となっている。これは、3年度に分館2館(神代・宮の下分館)の空調整備工事を行い、完了をみたためである。また、平成5年度当初予算額は3億5,850万円で前年度に比べて415万円減額となっている。これは、経常経費を精査した結果である。

なお、平成5年度の主要事業として、全館で50,000冊、新中央館用として別に14,000冊を購入し、市民の教養、調査研究、レクリエーションなどの要望に応えられるよう、新鮮で充実した蔵書を提供していく。また、未電算館の5館(富士見・神代・深大寺・緑ヶ丘・つつじヶ丘分館)も、電算稼働させ、全館のオンライン化を完成させる。これによって、市内のどの図書館からも資料の所蔵状況を把握できるようになり、市民への資料の貸出と情報提供が迅速化される。

年度別決算額の推移（表I-3）

科目	年度								
	S40	41	42	46	51	55	56	57	
市費総額	1,729,966	2,111,464	2,355,029	7,675,139	18,127,507	26,876,122	30,229,207	31,855,245	
指数		100	112	364	859	1,273	1,432	1,509	
教育費	468,770	486,168	574,563	1,915,687	4,196,469	5,126,437	6,195,692	4,802,891	
指数		100	118	394	863	1,054	1,274	988	
市費に占める割合		23.0%	24.4%	25.0%	23.1%	19.1%	20.5%	15.1%	
図書館費	18,960	5,914	5,946	45,273	53,696	91,971	275,630	127,283	
（図書費）		2,044	2,946	12,030	17,578	35,314	68,291	51,898	
（建設費）	17,348	0	0	17,800	0	0	151,548	0	
（その他）		3,870	3,000	15,443	36,118	56,657	65,791	75,385	
指数		100	101	766	908	1,555	4,661	2,152	
市費に占める割合		0.3%	0.3%	0.6%	0.3%	0.3%	0.9%	0.4%	
教育費に占める割合		1.2%	1.0%	2.4%	1.3%	1.8%	4.4%	2.7%	
人口	119,644	132,458	139,811	159,026	171,432	176,149	178,814	180,731	
指数		100	106	120	129	133	135	136	
人口一人当り	市費	14,459	15,940	16,844	48,263	105,742	152,576	169,054	176,258
	教育費	3,918	3,670	4,110	12,046	24,479	29,103	34,649	26,575
	図書館費	158	45	43	285	313	522	1,541	704
	図書購入費		15	21	76	103	200	326	287
図書館分館開館時		中央				染地		佐須	

書籍平均単価		885	883	1,198	2,301	2,635	2,754	2,712
市書籍平均単価		1,212	630	808	1,046	1,270	1,315	1,424

- 図書館費に職員の給与等人員費は含まれていない。
- 人口は毎年1月1日現在。
- 昭和40、41年度は開館準備年度と開館年度にあたる。
- 昭和44年度国領分館開館、昭和45年度つつじヶ丘分館開館、昭和46年度深大寺・神代分館開館、昭和47年度客の下分館開館、昭和49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、昭和50年度若葉分館開館。
- 書籍平均単価は『出版年鑑』（出版ニュース社）による。

(単位：千円)

58	59	60	61	62	63	H-1	2	3	4
32,295,852	34,544,398	37,006,648	37,656,662	42,240,488	46,747,909	52,555,125	55,994,720	60,572,820	69,627,642
1,530	1,636	1,753	1,783	2,001	2,214	2,489	2,652	2,869	3,298
5,259,307	6,000,325	7,249,014	5,948,019	6,089,547	6,618,625	6,718,605	7,603,677	10,089,005	9,965,504
1,082	1,234	1,491	1,223	1,253	1,361	1,382	1,584	2,076	2,050
16.3%	17.4%	19.6%	15.8%	14.4%	14.2%	12.8%	13.6%	16.7%	14.4%
120,476	176,760	156,042	178,534	215,231	328,991	337,973	511,108	410,062	345,933
53,959	49,990	49,955	73,139	85,868	99,989	117,640	150,235	170,467	130,996
0	49,350	0	0	0	0	0	0	0	0
66,517	77,420	106,087	105,395	129,363	229,002	220,333	360,873	239,595	214,988
2,037	2,989	2,639	3,019	3,639	5,563	5,715	8,642	6,191	5,554
0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	1.0%	0.7%	0.5%
2.3%	2.9%	2.2%	3.0%	3.5%	5.0%	5.0%	6.4%	4.1%	3.5%
181,942	184,253	187,244	189,747	191,410	191,811	191,709	192,018	193,038	193,647
137	139	141	143	145	145	145	145	146	146
177,506	187,484	197,639	198,457	220,681	243,719	274,140	291,611	313,787	359,560
28,907	32,566	38,714	31,347	31,814	34,506	35,046	39,599	52,264	51,463
662	959	833	941	1,124	1,715	1,763	2,662	2,124	1,786
297	271	267	385	449	521	614	782	883	676
		(資料 保存庫)							

(単位：円)

2,740	2,751	2,833	2,521	2,449	2,496	2,609	2,764	2,911	3,099
1,490	1,456	1,435	2,002	1,881	1,852	1,933	1,931	2,189	2,276

図書館費内訳表 (表I-4)

節・細節	年 度	63 年 度		元 年 度	
		決 算 額	%	決 算 額	%
貨 金		2,726,772	0.83	8,193,408	2.42
報 償 費		8,511,175	2.59	13,197,228	3.91
旅 費		830,910	0.25	859,360	0.25
一 般 需 用 費		40,127,250	12.20	44,269,948	13.10
食 糧 費		55,100	0.02	69,709	0.02
役 務 費		8,400,041	2.55	5,893,946	1.74
委 託 料		32,460,204	9.87	54,840,386	16.23
使用料及び賃借料		4,122,648	1.25	5,143,659	1.52
工 事 請 負 費		112,045,000	34.06	69,378,740	20.53
原 材 料 費		98,388	0.03	0	—
備 品 購 入 費		119,543,013	36.33	136,050,820	40.26
(図 書)		(99,988,928)	(30.39)	(117,640,120)	(34.81)
(機 械 器 具)		(9,006,820)	(2.74)	(1,546,522)	(0.46)
(視 聴 覚 教 材)		(3,881,750)	(1.18)	(4,490,237)	(1.33)
(庁 用 器 具)		(6,665,515)	(2.02)	(12,373,941)	(3.66)
負担金、補助及び交付金		61,600	0.02	66,100	0.02
補償、補填及び賠償金		0	—	0	—
公 課 費		8,800	0.00	8,800	0.00
合 計		328,990,901	100	337,972,104	100

○ () 内は内訳。

(単位：円)

2 年 度		3 年 度		4 年 度		5 年度当初予算
決 算 額	%	決 算 額	%	決 算 額	%	
8,742,360	1.71	9,087,080	2.22	8,683,878	2.51	8,672,000
13,797,940	2.70	20,973,440	5.12	21,453,140	6.20	24,969,000
572,940	0.11	659,330	0.16	506,950	0.15	600,000
43,229,310	8.46	49,998,810	12.20	48,436,428	14.00	50,234,000
76,071	0.01	82,960	0.00	88,881	0.03	72,000
8,584,030	1.68	8,234,310	2.01	7,446,631	2.15	8,702,000
82,021,516	16.05	66,064,542	16.11	67,391,279	19.48	64,299,000
5,205,814	1.02	25,960,531	6.33	43,174,396	12.48	64,202,000
168,503,880	32.97	37,422,990	9.13	2,371,781	0.69	3,090,000
0	—	0	—	0	—	—
180,303,378	35.28	191,490,907	46.70	146,277,287	42.28	133,523,000
(150,235,228)	(29.40)	(170,467,318)	(41.57)	(130,994,946)	(37.87)	(123,729,000)
(542,334)	(0.11)	(11,092,388)	(2.71)	(8,800,416)	(2.54)	(3,740,000)
(5,337,511)	(1.04)	(4,974,063)	(1.21)	(4,272,575)	(1.23)	(3,554,000)
(24,188,305)	(4.73)	(4,957,138)	(1.21)	(2,209,350)	(0.64)	(2,500,000)
61,600	0.01	78,320	0.02	93,770	0.03	97,000
0	—	0	—	0	—	30,000
8,800	0.00	8,800	0.00	8,800	0.00	9,000
511,107,639	100	410,062,020	100	345,933,221	100	358,499,000

II 図書館の概況

調布市立図書館は、昭和41年に開館して以来、資料の提供と各種事業の実施によって、図書館活動の充実を図ってきた。

また、身近な生涯教育の場として、分館網の整備にも取組み、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館を三原則として、現在、中央館を中心にして10分館が活動を行っている。

調布市立図書館網の中核機関として建設が計画されている新中央図書館は、市民からの要望も多く、平成7年度完成を目指して準備が進められている。

1 運営方針

図書館は、調布市基本計画の理念に基づき、社会の変化に応えるため、市民の生涯学習を支える社会教育活動を目標として、次の基本的な運営方針を設定している。

- (1) 市民の本棚として、気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、自由に図書館サービスが受けられるように、その内容を充実していく。
- (2) 市民の要求を的確に受けとめると同時に、21世紀に向けて、積極的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもにより読書環境を提供するため、各館に独立した児童室を設けるとともに、あらゆる機会をとらえて児童に対するサービスを実施する。
- (4) 市民の身近なところで文化的事業を開催し、図書館資料の活用の拡大を図る。
- (5) 市民に対して充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い、職員の能力の向上を図る。

以上の基本的な運営方針のもとに、図書館は、多様化し、質的に高度化する市民要求に即応できるサービスを実施する。また、地域における市民の自立した学習活動を積極的に援助するとともに、今日までの活動を基盤としてさらに努力を重ね、新しい時代にふさわしい図書館活動を実施する。

2 平成4年度の図書館活動

(1) 重点事業

ア 市民意識調査の実施

新中央図書館の建設を機に、これからの図書館サービスの在り方について広く市民の意見・要望を聞くため、「調布市立図書館に関する市民意識調査」を実施した。

分館網が完成してから10年が経過し、当初から見ると、社会情勢も市民意識も大きく変化してきている。今後ますます図書館に対する要望が高まる中で市民の要求を客観的かつ

正確に把握するため、意識調査を実施した。今後この結果を分析して、図書館サービスの在り方の指針とする。

イ 蔵書の充実

中央館を含む11館がそれぞれ購入計画を立て、各館の規模や地域の要望に応じて、次の点に留意しながら図書を選択し収集した。

ア) 新刊書を中心に、市民のニーズに適切した図書の選択と収集

イ) 参考図書、各分野における専門的資料の収集

ウ) 郷土資料、行政資料の収集

エ) 映画関係資料の収集

オ) シリーズもの及び定評のある基本的図書を中心とした新中央図書館用図書の収集

ウ 図書館業務の電算システム化

貸出・返却作業、資料管理等について、大量のデータを迅速に処理することにより図書館サービスを向上させるため、平成3年度から、中央館及び染地・佐須両分館で稼働したのを始め、年次計画に基づき順次電算化を進めた。

ア) 10月から、国領・宮の下・若葉分館の資料電算管理稼働

イ) 深大寺・神代・富士見分館の図書データ作成

エ 文化的事業の推進とサークル育成

図書館活動を市民と連帯した活動にするため、読書啓蒙活動を行うとともに、市民の学習活動を援助するため、次の事業を実施した。

ア) 講演会、講座等を中心とした文化的事業

イ) 地域における読書会、文化活動の援助と育成

ウ) 調布ブッククラブを中心とした市民団体及びサークルへの援助

エ) 第21回図書館まつり

オ ハンディキャップサービスの充実

当面は視覚障害者に対するサービスに重点を置き、ボランティアの養成に取り組みつつ、朗読テープの作成、対面朗読、点訳サービス等を行い、視覚障害者の読書権の保障を確立してゆくため、次の事業を行った。

ア) 中級点訳ボランティア養成講座の開催

イ) 関係資料（録音図書、大型活字本等）の収集・整備

ウ) 図書館利用に障害をもつ人びととの情報交換

カ 市民文庫の発刊

地域に関連した市民の著作物、及び、これまでの図書館活動から生まれた貴重な資料を出版し、広く一般に普及させるとともに、記録として保存することを目的としている。平

成4年度には、「子どものための調布市の歴史」を発行した。

キ 視聴覚ライブラリーの充実

集団学習をより効果的に推進するために視聴覚機器及び教材を整備するとともに、視聴覚教育活動の普及を図るため、次の事業を行った。

- ア) 地域における映画会等への援助・協力
- イ) 視聴覚機器類の利用指導
- ウ) 16ミリ発声映写機操作認定講習会の開催
- エ) 16ミリ発声映写機検定の実施

(2) 日常的事業

今日までの経験と蓄積を基盤にして、日常活動の充実とその将来への発展を図るため、次の事業を実施した。

ア 各館事業

- ア) 幼児、児童対象事業（おはなし会等）
- イ) 成人対象事業（地域講演会、地域読書会等）
- ウ) 学校、幼稚園、保育園等における読書事業への協力
- エ) 団体、サークル等他機関との協力

イ 広報事業

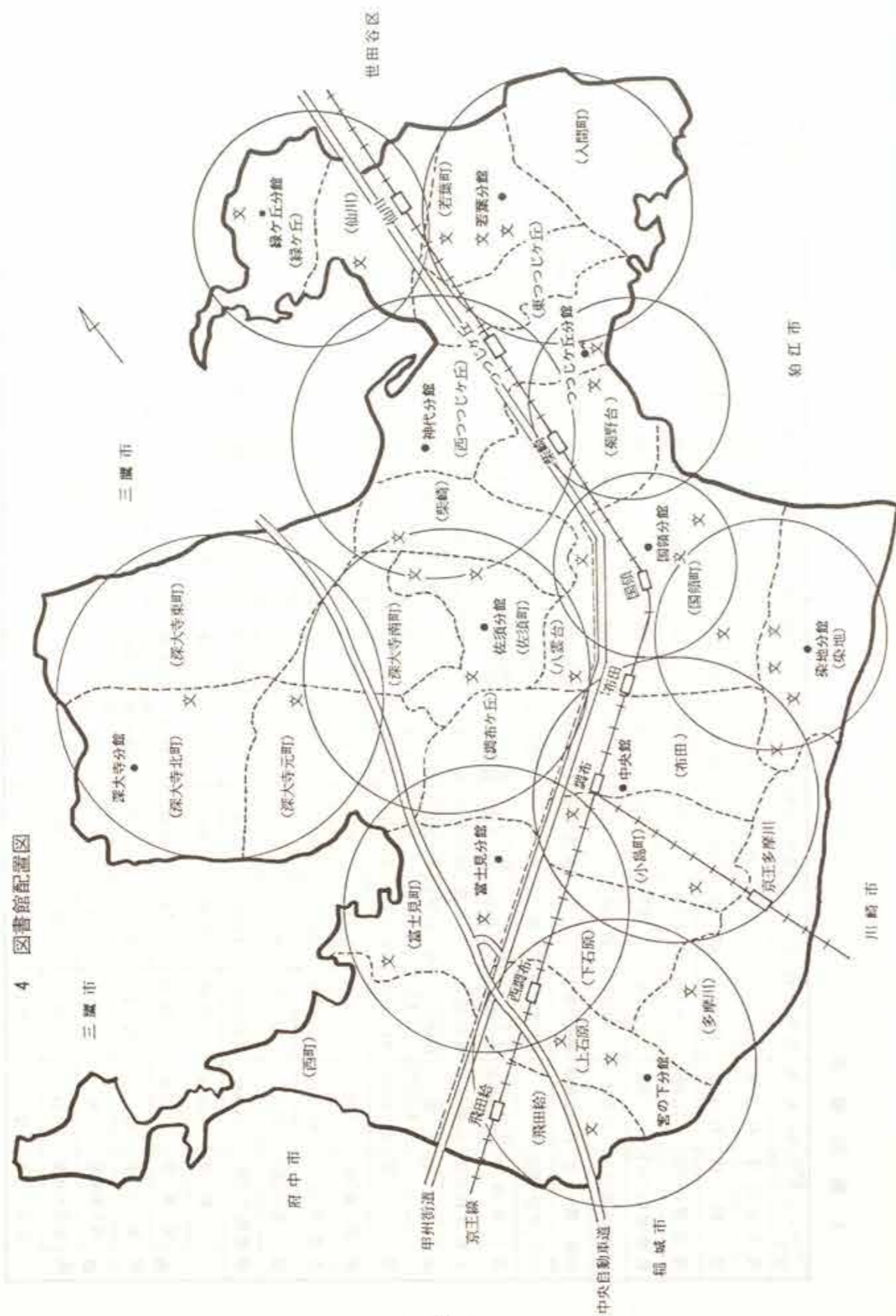
- ア) 「図書館だより」の発行
- イ) 中学生通信「ぶちねこ便」の発行
- ウ) 各種広報紙の発行

3 施設概況

平成5年3月31日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つしヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫
竣工年月日		41.3.31	44.3.31	45.3.28	46.2.28	46.3.31	47.3.31	49.3.31	49.3.31	50.3.31	55.5.19	57.3.31	60.3.15
開館日		41.6.10	44.8.14	45.7.20	46.7.24	46.10.1	47.7.24	49.7.20	49.7.20	50.4.12 50.7.5	55.6.6	57.7.13	60.4.1
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,180	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000
敷地面積(m ²)		585	1,544	270	824	1,986	1,780	800	1,524	879	1,644	2,166	1,072
土地購入費(千円)		市有地		借地				借地		市有地	借地	借地	借地
建物の構造		鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建	鉄筋の階上	鉄骨平家
物の併設・単独		単	併設	併設	併設	併設	併設	併設	併設	併設	併設	併設	併設
設計事務所		和設計事務所	桜井設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	つかさ設計事務所	和設計事務所	和設計事務所	和設計事務所	和設計事務所	和設計事務所
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店
所在地		布田4-17-5	国領町3-12-1	西つしヶ丘4-23-6	深大寺北町5-5-1	西つしヶ丘1-40-5	上石原3-34-10	緑ヶ丘2-25	富士見町2-3-26	若葉町3-16-13	染地3-3-1	佐須町4-42-2	上石原2-7-6
電話番号		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	3300-7672	81-7664	3309-3411	88-8393	85-1306	87-2660
床面積(m ²)		626	324	114	257	364	342	336	334	516	369 ²⁹⁸ 71(共)	605	485
改修年月日		63.3.1	2.11.30	63.3.1	63.8.1	63.12.28	63.8.1	2.7.31	2.3.22	1.7.31	63.3.1	63.3.1	
職員(司書)		15(7)	3(3)	2(2)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)	5(5)	3(3)	3(3)	2(2)
蔵書能力(冊)		55,000	37,000	18,000	32,000	33,000	31,000	33,000	33,000	44,000	40,000	36,000 閉架 閉架	200,000
一般室		230	175	26	90	140	130	120	136	173	153	245	
児童室		63	91	52	63	68	56	64	56	123	105	80	
集会室		なし	なし	なし	28	34	45	なし	63	51	なし	なし	
成人用座席		67	40	3	12	24	12	20	12	36	12	24	
児童用座席		14	23	18	16	21	20	17	24	24	12	12	
おはなし室		なし	20	なし	なし	25	18	20	なし	32	なし	25	
電動式書架													室 260
固定式書架													室 200

(明) 専用部分 (共) 共用部分



III 各館の概要

1 中央館

調布市布田4-17-5

電話 0424-81-7661

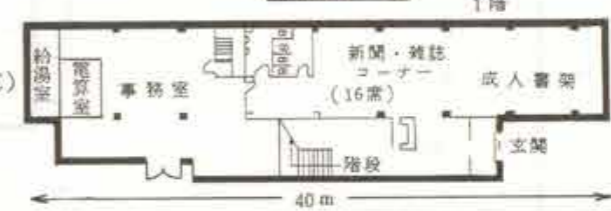
FAX 0424-81-7665

昭和41年6月10日開館

(京王線調布駅より徒歩2分)

蔵書数 248,922冊

(平成5年3月31日現在 以下同じ)



2 国領分館

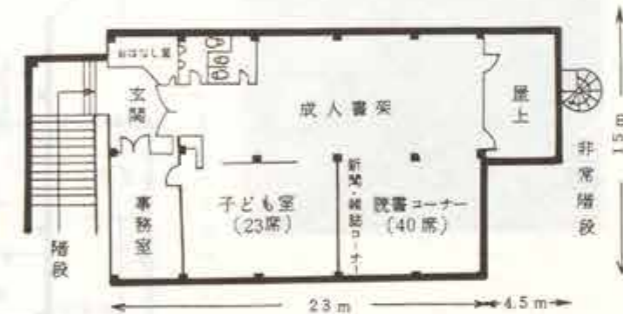
調布市国領町3-12-1

電話・FAX 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館(保育園併設)

(京王線国領駅より徒歩3分)

蔵書数 39,071冊



3 つつじヶ丘分館

調布市西つつじヶ丘4-23-6
電話・FAX 0424-85-2000

昭和45年7月20日開館
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩10分)

蔵書数 19,018 冊

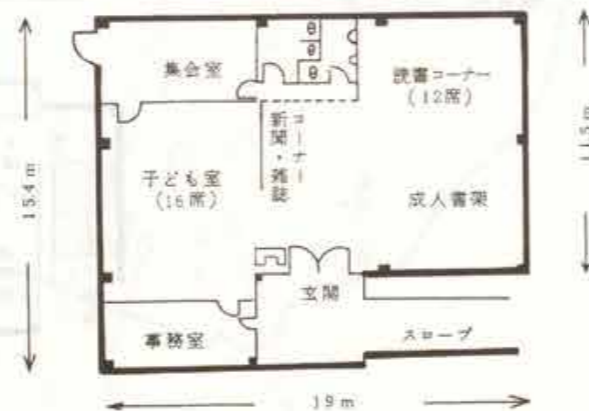


4 深大寺分館

調布市深大寺北町5-6-1
電話・FAX 0424-85-3350

昭和46年7月24日開館
(吉祥寺・三鷹行バス山野より徒歩8分)

蔵書数 34,835 冊



5 神代分館

調布市西つつじヶ丘1-40-5
電話・FAX 0424-85-0054

昭和46年10月1日開館(保育園併設)
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)

蔵書数 34,320 冊

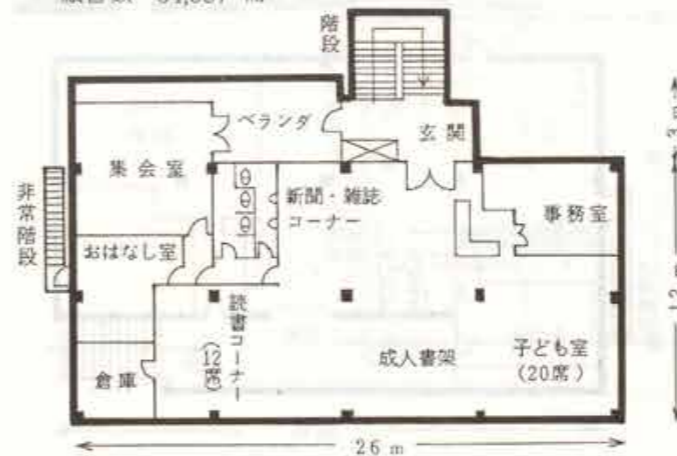


6 宮の下分館

調布市上石原3-34-10
電話・FAX 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館(保育園併設)
(京王線西調布駅より徒歩15分)

蔵書数 34,587 冊



7 緑ヶ丘分館

調布市緑ヶ丘 2-25

電話・FAX 03-3300-7672

昭和49年7月20日開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)



蔵書数 35,162 冊



8 富士見分館

調布市富士見町 2-3-26

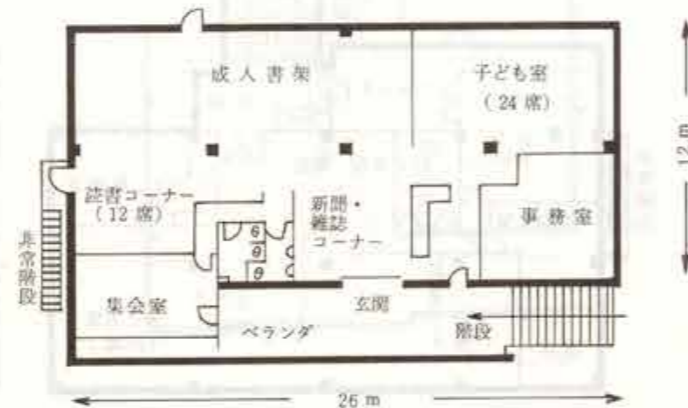
電話・FAX 0424-81-7664

昭和49年7月20日開館 (保育園併設)

(京王線調布駅より徒歩15分)



蔵書数 37,565 冊



9 若葉分館

調布市若葉町 3-16-13

電話・FAX 03-3309-3411

昭和50年4月12日 (児童室)

7月5日 (成人室) 開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)



蔵書数 44,930 冊



10 染地分館

調布市染地 3-3-1

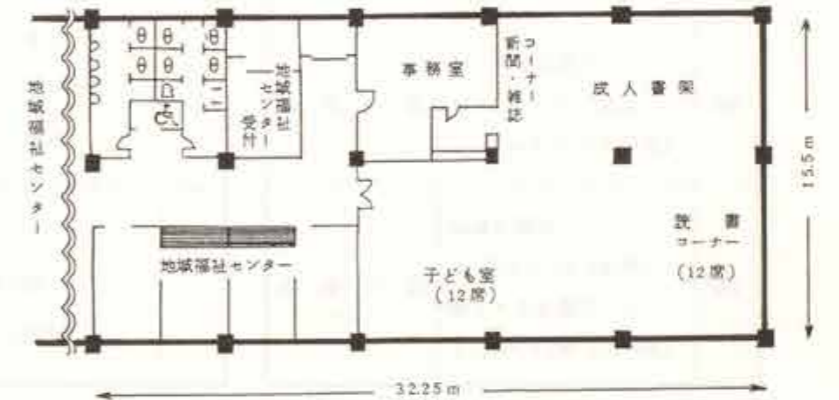
電話・FAX 0424-88-8393

昭和55年6月6日開館 (地域福祉センター併設)

(多摩川住宅西行バス染地公園前より徒歩3分)



蔵書数 41,362 冊



11 佐須分館

調布市佐須町4-42-2

電話・FAX 0424-85-1306

昭和57年7月13日開館（児童館併設）
（京王線布田駅より徒歩15分）

蔵書数 38,771 冊



IV 各館の事業

1 子ども対象の事業

(1) おはなし会

幼児から小学生を対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。定例日の他に、夏休み、クリスマス等に特別おはなし会を実施した館もある。

実施館	日 時	参加人数
中央館	第2・4水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	379人
国領分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	373人
つつじヶ丘分館	第2日曜日 10:00~10:20 (幼児) 10:30~11:00 (小学生)	181人
深大寺分館	毎週木曜日 3:00~3:20 (幼児) 第1・3水曜日 3:30~4:00 (小学生)	558人
神代分館	第1・3水曜日 3:00~3:30 (幼児) 第2・4水曜日 3:00~3:30 (小学生) 第5水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	534人

実施館	日 時	参加人数
宮の下分館	第1~3水曜日 3:00~3:30 (幼児) 3:30~4:00 (小学生)	994人
緑ヶ丘分館	毎週水曜日 3:00~3:30 (幼児・小学生)	259人
富士見分館	毎週水曜日 2:00~2:20 (幼児) 第1・3水曜日 3:00~3:30 (小学生)	610人
若葉分館	毎週火曜日 3:00~3:30 (小学生) 毎週木曜日 3:00~3:30 (幼児)	1,085人
染地分館	第2・4木曜日 3:00~3:30 (幼児) 3:30~4:00 (小学生)	468人
佐須分館	毎週水曜日 2:30~2:50 (幼児) 第1・3水曜日 3:30~3:50 (小学生)	559人

○参加人数は、年間延べ参加人数。

(2) 小学生読書会

小学校4年生から6年生までを対象に、幅広く本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。日常の生活に結びついたテーマを中心にプログラムを組み、ストーリーテリング、本の読み聞かせと合わせて、文学作品、ノンフィクションなどの本を紹介した。また、創作活動もとり入れ、創造力を啓発した。

実施館	日 時
中央館	第1日曜日 10:00~11:30

(3) 市立小学校との協力事業

市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年にも実施した。この他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成し、それ以外の図書館作成リストも随時配布した。また、先生方から読書相談を受けたり、依頼により父母に向けて本の紹介や読み聞かせについての会をもつなど学校との連携をはかった。希望に応じて団体貸出も行った。

プログラム例

内 容
<p>㉠プログラム ガイダンス (3年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「としゃかんのつかいかた」(利用案内の説明) 2. 本の紹介 「恐竜の研究」(全3巻)「ちびドラゴンのおくりもの」他 3. ストーリーテリング 「あくびがでるほどおもしろい話」
<p>㉡プログラム テーマ:魔法の呪文 (2年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の利用案内 2. 読み聞かせ 「めっきらもっきらどおんどん」 3. 本の紹介 「まあちゃんのまほう」「こぶじいさま」「ものいうほね」他 4. ストーリーテリング 「マメ子と魔物」
<p>㉢プログラム テーマ:不思議なお話 (4年生)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 読み聞かせ 「なんでも見える鏡」 2. 本の紹介 「大千世界のなかまたち」「ハナさんのおきゃくさま」「魔法使いのチョコレートケーキ」「壺の中」他 3. ストーリーテリング 「たまごのカラの酒づくり」

平成4年度学校協力事業実施回数及び団体貸出冊数(表IV-1)

	学 校 名	協 力 事 業 実 施 回 数							団体貸出冊数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
小学校	第一	1	1	1	1	1	1	6	2,160
	第二		1	1				2	77
	第三			1				1	
	八雲台			1				1	812
	富士見台			1				1	1,080
	滝坂			1				1	
	深大寺			1				1	301
	上ノ原			1				1	366
	石原	1	1	1	1			4	1,020
	若葉	1	1	1	1			4	9,508
	野川			1				1	
	緑ヶ丘			1		1		2	1,123
	染地			1				1	702
	北ノ台			1				1	120
	多摩川			1				1	435
	杉森			1				1	453
	大町			1				1	
	飛田給			1				1	12
	柏野			1				1	133
	国領			1				1	
布田			1				1	1,440	
小 計		3	4	21	3	2	1	34	19,742
中学校	第八								38
小 計								0	38
合 計								34	19,780

(4) そ の 他

事業名	日時・会場	内 容
中学生通信の発行	毎月1回、第1日曜日 午前9時半~11時半 市民センター (編集会場)	中学生との交流と図書館利用の促進を目的に、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通じて配布したところ、読者からの反響は大きかった。
児童館・学童保育所 保育園・幼稚園 文庫等への働きかけ	随時 図書館または 左記施設	市の施設等に対して、図書の団体貸出を行った。また、施設を利用している子どもたちを対象に読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

2 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	毎月1回、第4火曜日 午前10時～12時 公民館ほか	昔話、新刊書、基本的な図書などをとりあげて読書会を催した。大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い、子どもと本に対する理解を深めた。



中学生通信「ふちねこ便」編集会議風景



小学生読書会風景

V 蔵書の状況

中央館では、各分館のセンターとしての役割を果たすために、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっている。

一方、各分館においては、改修工事に伴い書架を増設し、所蔵能力を高めている。蔵書は、文学を中心に社会科学・歴史・地理・家庭など比較的利用頻度の高い分野に重点を置いて整備を進めた。

新中央図書館用の図書については、成人用は全分野を6グループに分け、各グループで長期的に継続購入しているほか、調布独自のコレクションとして映画関係資料を購入している。児童用は出版社別にまとめて購入する作業が終わり、洋書を購入した。成人用・児童用合せて15,157冊が新たに加わり、101,580冊となった。

平成3年度から、毎日出版される書籍を、書籍取次会社より送品してもらう、見計り選書システムを導入し、納本のスピード化とともに、全館的視野に立った選書体制づくりを進めている。

図書の保存に関しても、全館からの保存希望図書を対象に作業が続けられており、資料的価値のある本の保持に努めている。

現在の中央館は、所蔵能力を超えており、新しい資料でも、佐須分館内の閉架書庫と中央自動車道高架下にある資料保存庫の2か所に分けて、配架せざるを得ない状況である。このように、利用者の求める資料を所蔵しているにもかかわらず、直ちに提供できない状況にあり、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いに待たれる。

年度別蔵書冊数の推移(表V-1)

年度	分野	成人図書	児童図書	計
S41		7,946	1,308	9,254
42		12,272	2,588	14,860
43		16,390	4,392	20,782
44		22,142	7,570	29,712
45		28,068	10,834	38,902
46		34,997	18,810	53,807
47		49,510	26,365	75,875
48		73,570	34,157	107,727
49		99,001	53,375	152,376
50		121,382	61,570	182,952
51		136,416	67,312	203,728
52		147,581	68,412	215,993
53		159,407	71,587	230,994
54		171,602	74,840	246,442
55		192,087	80,480	272,567
56		215,795	86,839	302,634
57		230,830	92,337	323,167
58		246,592	94,786	341,378
59		244,022	96,960	340,982
60		248,763	96,666	345,429
61		259,143	100,279	359,422
62		274,890	105,052	379,942
63		287,964	106,665	394,629
H 1		296,702	110,034	406,736
2		315,396	116,808	432,202
3		399,819	155,774	555,593
4		439,668	168,875	608,543

○昭和61年度～平成2年度まで、新中央館分は含まない。

館別購入・寄贈受入・除籍冊数(表V-2)

館名 年度 資料区分		中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
		2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
購 入	郷土資料	92	75	62	—	—	—	—	—	—
	成人	8,480	8,976	9,029	2,741	3,729	3,333	2,516	1,534	1,674
	児童	4,065	3,462	3,172	1,396	1,600	1,472	2,266	1,178	1,213
	合計	12,637	12,513	12,263	4,137	5,329	4,805	4,782	2,712	2,887
寄 贈	郷土資料	114	344	783	—	—	—	—	—	—
	成人	1,148	430	2,010	89	221	172	191	174	73
	児童	709	385	128	1	7	10	10	0	2
	合計	1,971	1,159	2,921	90	228	182	201	174	75
除 籍	郷土資料	0	135	10	—	—	—	—	—	—
	成人	1,976	5,758	1,463	1,406	1,431	1,197	163	797	1,432
	児童	4,245	2,254	809	1,001	986	731	865	697	808
	合計	6,221	8,147	2,282	2,407	2,417	1,928	1,028	1,494	2,240

館名 年度 資料区分		深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
		2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
購 入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	2,682	3,335	3,380	2,200	2,995	3,405	2,553	2,582	3,314
	児童	1,194	1,329	1,386	1,225	1,524	1,288	1,343	1,507	1,475
	合計	3,876	4,664	4,766	3,425	4,519	4,693	3,896	4,089	4,789
寄 贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	493	184	157	87	335	475	157	209	70
	児童	0	25	5	7	40	14	0	0	59
	合計	493	209	162	94	375	489	157	209	129
除 籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	2,719	1,241	1,892	1,866	1,671	2,215	3,279	277	533
	児童	665	630	1,130	811	1,252	795	569	726	794
	合計	3,384	1,871	3,022	2,677	2,923	3,010	3,848	1,003	1,327

○中央館は、このほかに新中央図書館用図書として、昭和61年度2,849冊、昭和62年度7,934冊、昭和63年度14,848冊、平成元年度17,960冊、平成2年度25,514冊、平成3年度17,318冊、平成4年度15,157冊を購入。

館名 年度 資料区分		緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
		2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
購 入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	3,215	3,776	3,022	3,384	3,548	2,956	2,183	3,518	2,893
	児童	1,912	1,631	1,238	1,912	1,548	1,300	1,443	2,335	1,616
	合計	5,127	5,407	4,260	5,296	5,096	4,256	3,626	5,853	4,509
寄 贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	117	316	308	206	222	274	641	621	258
	児童	5	5	13	0	9	78	40	41	16
	合計	122	321	321	206	231	352	681	662	274
除 籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	602	1,209	1,470	1,641	937	977	2,790	997	1,532
	児童	188	767	806	676	565	814	622	645	1,636
	合計	790	1,976	2,276	2,317	1,502	1,791	3,412	1,642	3,168

館名 年度 資料区分		染地分館			佐須分館			計		
		2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度	2年度	3年度	4年度
購 入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	92	75	62
	成人	2,745	3,260	3,752	3,598	3,476	3,487	36,297	40,729	40,245
	児童	1,507	2,014	1,726	1,252	1,638	1,374	19,515	19,766	17,260
	合計	4,252	5,274	5,478	4,850	5,114	4,861	55,904	60,570	57,567
寄 贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	114	344	783
	成人	230	97	122	53	148	247	3,412	2,957	4,166
	児童	33	28	60	0	39	3	805	579	388
	合計	263	125	182	53	187	250	4,331	3,880	5,337
除 籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	0	135	10
	成人	1,492	1,749	2,212	3,296	1,458	630	21,230	17,525	15,553
	児童	1,363	1,132	1,564	2,532	185	285	13,537	9,839	10,172
	合計	2,855	2,881	3,776	5,828	1,643	915	34,707	27,499	25,735

○曝書(本の棚卸)実施館 平成2年度 富士見・染地・佐須
平成3年度 国領・宮の下・若葉
平成4年度 染地・佐須

館別・分類別蔵書冊数(表V-3)

平成5年3月31日現在

分類	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	新中央館	合計
成人図書	郷土資料	4,931											13	4,944
	0 総記	9,574	712	273	644	685	631	602	686	1,032	1,047	984	2,778	19,648
	1 哲学・宗教	5,138	901	126	606	809	558	539	673	971	815	791	4,441	16,368
	2 歴史・地理	12,184	3,201	838	2,694	2,877	2,627	2,693	2,892	3,954	3,271	3,210	6,140	46,581
	3 社会科学	19,016	3,314	668	2,596	3,075	2,536	2,535	2,933	3,579	3,535	3,429	12,184	59,400
	4 自然科学	5,652	1,910	523	1,591	1,717	1,682	1,515	1,522	2,064	1,836	2,382	5,581	27,975
	5 工業・家庭	5,278	2,251	1,427	1,976	2,056	2,354	2,098	2,046	2,159	2,142	2,305	3,978	30,070
	6 産業・交通	2,429	559	105	584	727	470	456	528	568	529	679	2,092	9,726
	7 芸術・スポーツ	10,346	2,496	484	2,412	2,320	2,189	2,240	2,708	3,202	2,654	2,928	11,155	45,134
	8 語学	2,074	599	157	616	462	624	558	580	653	644	688	2,724	10,379
9 文学	36,361	13,364	5,342	12,467	10,520	11,236	11,826	12,614	13,504	13,729	11,519	16,961	169,443	
小計	112,983	29,307	9,943	26,186	25,248	24,907	25,062	27,182	31,686	30,202	28,915	68,047	439,668	
児童図書	34,359	9,764	9,075	8,649	9,072	9,680	10,100	10,383	13,244	11,160	9,856	33,533	168,875	
合計	147,342	39,071	19,018	34,835	34,320	34,587	35,162	37,565	44,930	41,362	38,771	101,580	608,543	

VI 利用の状況

1 登録

年度別・町別登録者数(表VI-1)

町名	年度	S41	57	58	59	60	61	62	63	H1	S62・63 H1累計	2	3 (累計)	4 (累計)	
飛田給(野水・西町を含む)			697	708	770	747	714	725	304	248	1,277	716	847	886	
上下	石原		1,500	1,472	1,575	1,479	1,415	1,515	558	382	2,455	1,281	1,489	1,411	
多摩	石原		1,252	1,249	1,260	1,267	1,364	1,273	462	415	2,150	1,247	1,316	1,625	
高島	摩見		2,080	1,929	1,911	1,907	2,057	2,164	787	600	3,551	2,024	2,231	2,448	
小布	土島		2,366	2,380	2,403	2,282	2,271	2,087	630	545	3,262	2,123	2,579	3,285	
下調	布ヶ		1,859	1,874	1,770	1,714	1,728	1,613	515	478	2,606	1,529	1,471	2,103	
国八	布ヶ		1,644	1,689	1,640	1,572	1,498	1,549	669	442	2,660	1,471	1,287	1,974	
深大	大寺		81	59	84										
深大	布ヶ		1,249	1,197	1,265	1,186	1,212	1,221	454	394	2,069	1,177	1,086	1,698	
深大	領雲		5,208	6,133	6,042	5,256	4,560	4,335	1,377	1,080	6,792	3,997	4,629	3,919	
深大	領雲						536	443	211	166	820	532	462	562	
深大	寺元		5,184	4,162	4,095	4,988	5,014	4,727	1,268	843	6,839	3,999	3,259	4,230	
深大	寺元		4,410	4,366	4,411										
深大	寺元					857	802	731	223	185	1,139	658	730	1,044	
深大	寺元					1,289	1,160	1,127	324	222	1,673	992	1,278	1,651	
深大	寺元					1,369	1,192	1,079	373	320	1,772	1,074	1,379	1,835	
深大	寺元					577	644	542	189	133	864	529	547	763	
深大	寺元		1,556	1,455	1,468	1,376	1,291	1,175	318	251	1,744	1,016	862	1,204	
深大	寺元		1,780	1,754	1,720	1,622	1,591	1,557	565	447	2,568	1,587	1,934	2,463	
深大	寺元		1,189	1,132	1,275	1,281	1,275	1,270	333	291	1,894	1,250	1,565	1,177	
深大	寺元														
深大	寺元		930	822	845	805	826	818	237	244	1,299	811	1,058	901	
深大	寺元		3,112	3,246	3,288	3,284	3,335	3,233	919	755	4,907	3,057	3,837	4,347	
深大	寺元		1,007	1,073	1,134	1,149	1,092	1,047	297	233	1,577	960	1,221	919	
深大	寺元		521	564	519	548	554	549	196	161	906	517	712	651	
深大	寺元		1,688	1,638	1,644	1,801	1,678	1,554	279	226	2,059	1,264	1,678	2,032	
深大	寺元		1,303	1,400	1,254	1,202	1,344	1,136	383	318	1,837	939	1,249	1,333	
市内小計			40,616	40,312	40,373	39,588	39,153	37,470	11,871	9,379	58,720	34,750	38,706	44,461	
調布市外			1,738	1,506	1,418	1,341	1,331	1,220	483	434	2,137	1,091	1,445	1,999	
合計			3,082	42,354	41,818	41,791	40,899	40,484	38,690	12,354	9,813	60,857	35,841	40,151	46,460

○下布田は、昭和60年9月1日町名地番改正により廃止。八雲台は、昭和60年9月1日町名地番改正により設置。
 ○昭和62年度より貸出券の有効期間が3年間となった。○平成3年度は中央館・染地・佐須分館が10月より電算化したため、それ以降の合計と未電算館8館の平成2年度からの累計をによる。○平成4年度は中央館・染地・佐須分館の平成3年10月からの累計と新たに電算化した国領・宮の下・若葉分館の平成4年9月からの合計と他未電算館5館の平成2年度からの累計による。

年度別・館別登録者数（表VI-2）

年度		S41	57	58	59	60	61
成人	中央館	2,161	7,666	7,360	7,325	7,207	7,267
	国領分館		2,129	2,037	2,026	2,111	2,178
	つつじヶ丘分館		971	1,027	1,004	1,032	994
	深大寺分館		1,483	1,475	1,460	1,330	1,319
	神代分館		1,901	1,919	1,957	2,055	2,213
	宮の下分館		1,242	1,256	1,381	1,442	1,496
	緑ヶ丘分館		954	941	1,071	1,168	1,167
	富士見分館		1,304	1,324	1,421	1,466	1,424
	若葉分館		1,948	1,935	2,167	2,228	2,229
	染地分館		2,279	2,370	2,440	2,596	2,750
佐須分館		1,355	1,560	1,879	1,925	1,843	
計		2,161	23,232	23,204	24,131	24,560	24,880
指数		100	1,075	1,074	1,117	1,137	1,151
児童	中央館	921	3,210	2,901	2,687	2,448	2,487
	国領分館		1,989	1,969	1,740	1,611	1,546
	つつじヶ丘分館		1,234	1,296	1,192	1,063	1,153
	深大寺分館		1,349	1,203	1,190	1,031	830
	神代分館		1,516	1,481	1,366	1,250	1,240
	宮の下分館		1,532	1,389	1,350	1,277	1,268
	緑ヶ丘分館		1,073	1,000	950	1,015	944
	富士見分館		1,521	1,481	1,449	1,374	1,290
	若葉分館		1,688	1,750	1,761	1,606	1,543
	染地分館		2,388	2,331	2,243	2,084	1,922
佐須分館		1,622	1,813	1,732	1,580	1,381	
計		921	19,122	18,614	17,660	16,339	15,604
指数		100	2,076	2,021	1,917	1,774	1,694
合計	中央館	3,082	10,876	10,261	10,012	9,655	9,754
	国領分館		4,118	4,006	3,766	3,722	3,724
	つつじヶ丘分館		2,205	2,323	2,196	2,095	2,147
	深大寺分館		2,832	2,678	2,650	2,361	2,149
	神代分館		3,417	3,400	3,323	3,305	3,453
	宮の下分館		2,774	2,645	2,731	2,719	2,764
	緑ヶ丘分館		2,027	1,941	2,021	2,183	2,111
	富士見分館		2,825	2,805	2,870	2,840	2,714
	若葉分館		3,636	3,685	3,928	3,834	3,772
	染地分館		4,667	4,701	4,683	4,680	4,672
佐須分館		2,977	3,373	3,611	3,505	3,224	
計		3,082	42,354	41,818	41,791	40,899	40,484
指数		100	1,374	1,357	1,356	1,327	1,314
登録率		2.5	23.4	23.0	22.7	21.8	21.3

○昭和62年度より貸出券の有効期間が3年間となった。

○平成3年度は、中央館・染地・佐須分館が10月より電算化したため、それ以降の合計と未電算館8館の2年度からの累計による。

62	63	H1	2	3 (累計)	4 (累計)
7,182	10,751	13,635	7,906	6,717	11,838
2,035	2,809	3,453	2,147	3,088	1,611
940	1,228	1,445	1,018	1,269	1,515
1,210	1,519	1,777	1,190	1,585	1,989
2,112	2,725	3,342	2,110	2,856	3,588
1,647	2,105	2,476	1,465	2,008	1,160
1,166	1,438	1,646	1,031	1,427	1,796
1,414	1,776	2,094	1,232	1,823	2,231
2,279	2,953	3,444	2,216	2,969	1,798
2,632	3,240	3,636	2,317	1,975	2,625
1,738	2,304	2,698	1,639	1,485	2,125
24,355	32,848	39,646	24,271	27,202	32,276
1,127			1,123	1,259	1,494
2,380	3,372	4,080	2,201	1,747	2,693
1,332	1,701	1,974	1,067	1,464	820
1,054	1,261	1,443	896	1,055	1,195
748	963	1,102	622	864	1,151
1,123	1,423	1,726	965	1,329	1,613
1,242	1,554	1,830	956	1,304	866
809	902	993	521	706	852
1,110	1,394	1,645	864	1,289	1,561
1,457	1,788	2,048	1,230	1,565	1,130
1,844	2,179	2,434	1,264	922	1,220
1,236	1,659	1,936	984	704	1,083
14,335	18,196	21,211	11,570	12,949	14,184
1,556			1,256	1,406	1,540
9,562	14,123	17,715	10,107	8,464	14,531
3,367	4,510	5,427	3,214	4,552	2,431
1,994	2,489	2,888	1,914	2,324	2,710
1,958	2,482	2,879	1,812	2,449	3,140
3,235	4,148	5,068	3,075	4,185	5,201
2,889	3,659	4,306	2,421	3,312	2,026
1,975	2,340	2,639	1,552	2,133	2,648
2,524	3,170	3,739	2,096	3,112	3,792
3,736	4,741	5,492	3,446	4,534	2,928
4,476	5,419	6,070	3,581	2,897	3,845
2,974	3,963	4,634	2,623	2,189	3,208
38,690	51,044	60,857	35,841	40,151	46,460
1,255			1,163		
19.6			18.7		

○平成4年度は中央館・染地・佐須分館の平成3年10月からの累計と新たに電算化した国領・宮の下・若葉分館の平成4年9月からの合計と他未電算館5館の平成2年度からの累計による。

2 市内小中学生の登録状況（平成2年度調査結果）

昭和43年度以来、3年に1度の割合で実施しているこの調査は、今回で8回目になる。調査は、個人貸出申込書の登録データをもとに行った。

小中学生の登録状況を見ると、市内に点在する各図書館と学校との距離が近いほど登録率が高く、よく利用されていることがわかる。これは、地理的に近い館ほど、個人での読書のほかにも、宿題や修学旅行・文化祭準備などを目的としたグループでの利用が多くなるためである。

また、小学生は平均して70%弱、特に3年生は80%を超える高い登録率を示している。各図書館がサービスエリア内の小学校と協力して、3年生を対象とした図書館利用のガイダンスをはじめ、ブックトーク・読み聞かせ・ストーリーテリング等によって読書の動機づけを行っている成果が、この数字となってあらわれているといえよう。

しかし、今回の調査結果を前回と比較すると、登録者数・登録率とも全般に減少の傾向にあり、特に高学年の登録率の減少が著しいことがわかる。これには、児童数の低下とともに、最近の子どもたちが塾や習い事などで忙しく、ゆとりがなくなっていることが影響していると思われる。子どもたちの生活をとりまく状況を考慮しつつ、継続的に一層工夫した働きかけをしていく必要がある。

平成2年度 館別未就学児登録者数（表VI-3）

館名 年齢	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館
0歳	15	10	8	3	10	10	9
1歳	38	21	21	15	27	19	15
2歳	86	36	36	16	45	57	20
3歳	157	75	50	27	63	73	22
4歳	167	71	64	44	59	80	34
5歳	159	75	81	38	85	76	50
6歳	55	25	18	12	22	21	39
計	678	313	278	155	311	336	189

館名 年齢	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	年齢別人口	登録率
0歳	3	8	7	16	99	1,755	5.6
1歳	13	34	28	14	245	1,944	12.6
2歳	30	50	41	38	455	1,942	23.4
3歳	59	77	72	62	737	1,891	39.0
4歳	66	75	82	63	805	1,842	43.7
5歳	61	89	100	65	879	1,951	45.1
6歳	12	32	21	23	281	1,968	(14.3)
計	244	365	351	281	3,501	13,293	(26.3)

○6歳児人口は、小学校1年生も含むため、登録率は参考データ。

平成2年度 学校別・学年別登録者数（小学校）（表VI-4）

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		登録率
	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	
第1	122	71	99	74	117	81	114	60	141	96	116	67	709	449	63.3
第2	58	46	59	47	47	35	51	34	51	36	57	31	323	229	70.9
第3	87	42	71	48	92	65	98	59	92	59	99	45	539	318	59.0
八雲台	113	63	109	69	112	88	99	71	127	83	118	92	678	466	68.7
富士見台	98	70	94	61	88	66	96	65	108	80	115	67	599	409	68.3
滝坂	101	59	100	52	85	70	101	69	112	69	97	45	596	364	61.1
深大寺	69	23	68	32	62	39	51	16	69	40	58	26	377	176	46.7
上ノ原	138	94	117	70	114	89	130	70	148	122	129	87	776	532	68.6
石原	127	103	136	92	115	95	103	72	116	81	95	78	692	521	75.3
若葉	101	106	91	98	113	111	102	98	108	84	114	88	629	585	93.0
野川	65	52	67	79	82	83	73	75	76	75	78	75	461	439	95.2
緑ヶ丘	74	58	73	59	72	55	59	47	76	61	62	29	416	309	74.3
染地	53	41	49	31	62	55	64	56	64	43	66	36	358	262	73.2
北ノ台	99	52	98	62	114	95	99	45	111	68	108	50	629	372	59.1
多摩川	94	59	89	51	84	80	79	51	82	54	82	23	510	318	62.4
杉森	131	109	106	83	114	109	120	102	138	114	130	103	739	620	83.9
大町	66	53	50	35	44	41	71	64	58	38	72	19	361	250	69.3
飛田給	63	22	62	11	70	42	55	19	59	27	52	21	361	142	39.3
柏野	57	38	62	50	63	48	85	60	66	43	86	53	421	292	69.4
国領	74	59	75	51	89	76	66	91	109	81	113	81	526	412	78.3
布田	52	30	59	38	72	40	64	46	86	54	76	39	409	247	60.4
小計	1,842	1,250	1,754	1,193	1,811	1,463	1,780	1,270	1,997	1,408	1,925	1,155	11,109	7,712	69.4
登録率	67.9		68.0		80.8		71.3		71.3		70.5		69.4		
市内私立	25		20		30		20		26		29		150		
市外	36		33		47		35		30		26		207		
合計	1,311		1,246		1,540		1,325		1,464		1,210		8,069		

○登録者数が児童数を上回るのは、複数館で登録できるため。

平成2年度 学校別・館別登録者数(小学校) (表M-5)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	263	37.1	2	0.3			1	0.1		
第二	74	22.9	148	45.8						
第三	53	9.8								
八雲台	174	25.7	56	8.3						
富士見台	384	64.1	2	0.3						
滝坂	5	0.8			11	1.8			131	22.0
深大寺	18	4.8					85	22.5	18	4.8
上ノ原	9	1.2	30	3.9	3	0.4	5	0.6	420	54.1
石原	79	11.4							1	0.1
若葉	3	0.5	1	0.2	4	0.6				
野川	2	0.4			423	91.8			3	0.7
緑ヶ丘	1	0.2								
染地	13	3.6	17	4.7					1	0.3
北ノ台	4	0.6					366	58.2		
多摩川	81	15.9								
杉森	40	5.4	14	1.9	3	0.4				
大町	4	1.1	70	19.4	156	43.2			16	4.4
飛田給	44	12.2								
柏野	10	2.4	3	0.7			1	0.2	2	0.5
国領	19	3.6	387	73.6	5	1.0			1	0.2
布田	165	40.3								
小計	1,445		730		605		458		593	
市内私立	33		11		1		3		30	
市外	45		13		12		6		31	
合計	1,523		754		618		467		654	

○昭和62年度より貸出券の有効期間が3年間となった。 ○平成3年度は中央館・染地・佐須分館が10月より電算化のため、それ以降の合計と未電算館8館の平成2年度からの累計による。

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
1	0.1	1	0.1	154	21.7					27	3.8
				1	0.3			3	0.9	3	0.9
254	47.1			11	2.0						
										236	34.8
13	2.2			7	1.2					3	0.5
		6	1.0			211	35.4				
				3	0.8					52	13.8
		1	0.1			1	0.1			63	8.1
2	0.3	1	0.1	429	62.0					9	1.3
2	0.3					575	91.4				
						11	2.4				
		305	73.3			3	0.7				
								231	64.5		
						1	0.2			1	0.2
237	46.5										
1	0.1							560	75.8	2	0.3
						1	0.3			3	0.8
98	27.1										
										276	65.6
								82	20.0		
608		314		605		803		876		675	
4		3		4		27		15		19	
8		15		11		35		22		9	
620		332		620		865		913		703	

平成3年度 学校別・学年別登録者数(中学校) (表Ⅴ-6)

学校名	1 年		2 年		3 年		計		登録率
	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	267	151	286	121	299	54	852	326	38.3
神代	321	174	333	154	318	73	972	401	41.3
第三	283	181	338	140	344	115	965	436	45.2
第四	253	222	243	154	229	111	725	487	67.2
第五	254	111	244	70	333	49	831	230	27.7
第六	156	115	181	142	191	71	528	328	62.1
第七	137	51	136	47	167	36	440	134	30.5
第八	82	49	83	43	92	29	257	121	47.1
小計	1,753	1,054	1,844	871	1,973	538	5,570	2,463	44.2
登録率	60.1		47.2		27.3		44.2		
市内私立		41		31		34		106	
調布養護				1		1		2	
市外		141		100		105		346	
合計		1,236		1,003		678		2,917	

平成3年度 学校別・館別登録者数(中学校) (表Ⅴ-7)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布	85	10.0	2	0.2	1	0.1	10	1.2		
神代	21	2.2	3	0.3			143	14.7	178	18.3
第三	81	8.4	50	5.2	2	0.2			2	0.2
第四	9	1.2	5	0.7	103	14.2	1	0.1	17	2.3
第五	51	6.1							1	0.1
第六	33	6.3	219	41.5	50	9.5	2	0.4	9	1.7
第七	27	6.1	23	5.2			2	0.5	8	1.8
第八			1	0.4						
小計	307		303		156		158		215	
市内私立	34		7		1		3		17	
調布養護										
市外	114		22		4		11		48	
合計	455		332		161		172		280	



図書館利用ガイダンス風景

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
12	1.4			206	24.2			1	0.1	9	1.1
1	0.1	1	0.1	3	0.3	2	0.2			49	5.0
		2	0.2	1	0.1	2	0.2	294	30.5	2	0.2
		3	0.4			348	48.0			1	0.1
175	21.1			3	0.4						
		1	0.2	1	0.2	3	0.6	1	0.2	9	1.7
		1	0.2							73	16.6
		119	46.3			1	0.4				
188		127		214		356		296		143	
3		2		2		16		9		12	
				1				1			
17		12		22		32		34		30	
208		141		239		404		340		185	

3 貸出

平成3年度より電算館が1人3冊貸出から1人5冊貸出に変わり、平成4年度は平成3年度と合せて6館が電算館となったためあって、成人の個人貸出冊数は急激に伸びているが、児童の個人貸出冊数はゆるやかな伸びに止まっている。

一方、団体貸出冊数は平成元年度より順調に伸びている。

平成4年度 館別個人貸出冊数 (表Ⅴ-8)

館名 資料別	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	
成人	雑誌	8,694	3,960	6,135	3,953	4,459	4,128
	図書	170,291	52,614	21,998	35,137	47,414	36,711
小計	178,985	56,574	28,133	39,090	51,873	40,839	
児童図書	62,690	27,584	20,063	19,764	28,438	27,051	
合計	241,675	84,158	48,196	58,854	80,311	67,890	

○昭和62年度より1人3冊貸出になった。

○平成3年度10月より中央館・染地分館・佐須分館が、平成4年度9月より国領分館・宮の下分館・若葉分館が電算導入で1人5冊貸出になった。

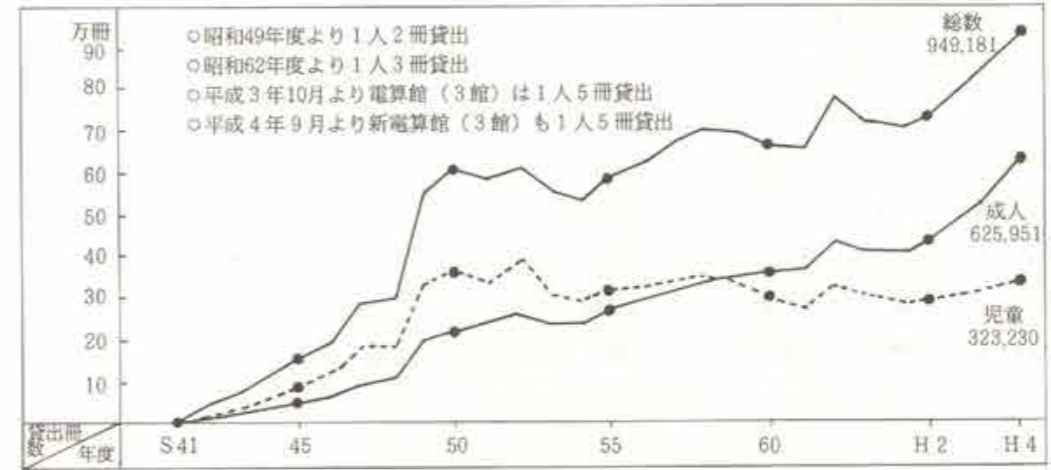
平成4年度 館別団体貸出冊数 (表Ⅴ-9)

団体別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数		50	8	4	4	9
貸出冊数	学校	4,680	77	0	120	366
	保育園	254	685	644	366	654
	その他	213	0	5	26	4
	合計	5,147	762	649	512	1,024

○若葉分館は、若葉小学校全クラスに読書の時間を通して定期的にクラス単位の貸出をしている。

○その他は、文庫・幼稚園・学童保育所・児童館・公民館等。

年度別個人貸出冊数の推移 (図Ⅴ-1)



緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
4,541	3,645	5,049	5,378	4,230	54,172	5.7
28,841	39,511	43,979	51,031	44,252	571,779	60.2
33,382	43,156	49,028	56,409	48,482	625,951	65.9
14,981	24,450	32,329	35,944	29,936	323,230	34.1
48,363	67,606	81,357	92,353	78,418	949,181	100.0

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
11	24	23	29	16	13	227
447	1,161	1,020	9,508	1,155	1,246	19,780
534	743	604	1,086	0	0	5,570
13	361	65	257	302	1,203	2,449
994	2,265	1,689	10,851	1,457	2,449	27,799

4 予約・リクエスト

予約図書は平成3年度より増加した。特に中央館の平成4年度の予約受付冊数は、平成3年度比1.8倍と著しい。この中には、予約やリクエスト図書の要望だけでなく、必然的に市民の日常生活や仕事の中で起こった疑問の解決、調査、研究の援助などの要望が含まれており、図書館員に対して、本の専門的知識の要求が高まっていることを示している。また利用者の電算による検索が可能になり、要望が出しやすくなったことも一つの要因と言えるだろう。

こうした市民からの資料要求に応えるためには、自館の蔵書だけでは不可能であり、図書館ネットワークの働きが大切である。市内図書館システムの総力をあげても、まだ十分に答えられない時、都立図書館、多摩地区市町村立図書館、都内の区立図書館、国立国会図書館などの相互協力によって、市民からの要望にできる限り応えている。

平成4年度 館別予約図書受付冊数 (表Ⅴ-10)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書		10,921	2,043	1,460	1,625	1,665
児童図書		1,355	330	254	369	241
合計		12,276	2,373	1,714	1,994	1,906

○予約図書には、リクエスト図書も含む。

平成4年度 都立図書館からの借用冊数 (表Ⅴ-11)

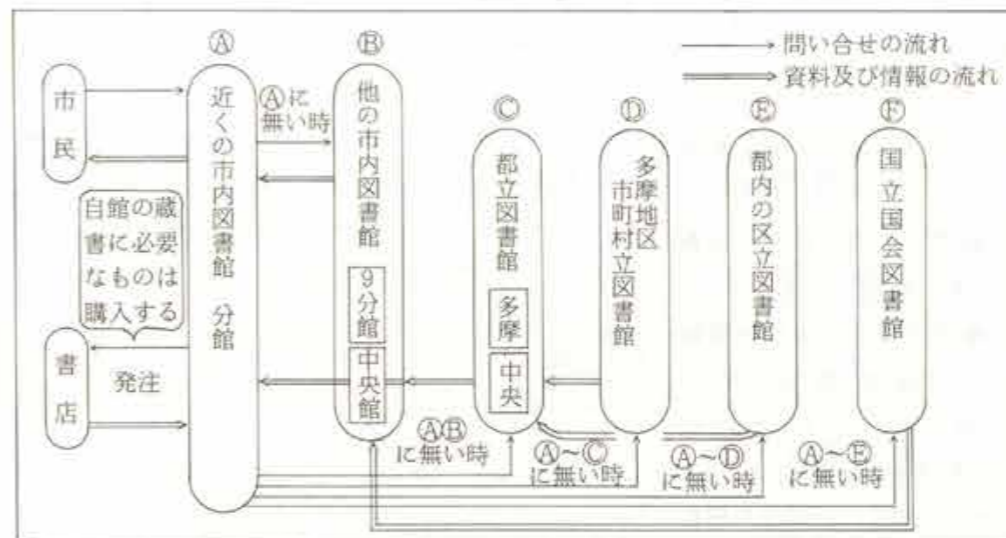
	図		書		借用合計	借用率
	申込冊数	多摩図書館から借用	中央図書館から借用	借用冊数		
全館	1,806	762	542	1,304	72.2	

平成4年度 多摩地区市町村立図書館との相互貸借冊数(探しています) (表Ⅴ-12)

「探しています」による 多摩地区市町村立図書館との相互貸借				「予約情報 多摩版」 による多摩地区市町村 立図書館への貸出冊数	
申込冊数	借用冊数	借用率	貸出冊数		
70	40	57.1	16	11	

○数値は、市内図書館全館の値。

予約サービスの流れ(例) (図Ⅴ-2)



宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
597	780	905	1,610	2,255	1,476	25,337
205	212	313	580	421	275	4,555
802	992	1,218	2,190	2,676	1,751	29,892

雑		誌		合計	
申込冊数	多摩図書館から借入れ	借用率	申込冊数	借用冊数	借用率
763	638	83.6	2,569	1,942	75.6

各図書館による直接の相互貸借		国立国会図書館から借用		
借用冊数	貸出冊数	申込冊数	借用冊数	借用率
26	36	29	11	37.9

5 活動実績

図書館活動5カ年間の推移 (表VI-13)

年 度	63	H1	2	3	4
登 録 率 ($\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人 口}} \times 100$)	—	—	18.1	—	—
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人 口}}$)	3.88	3.73	3.87	4.33	5.05
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	—	—	20.6	—	—
1館当りの1日の貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	275	255	283	296	343
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$)	1.8	1.7	1.6	1.5	1.6
市民1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{人 口}}$)	0.30	0.34	0.45	0.42	0.40
登録者1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{登録者数}}$)	—	—	2.38	—	—
市民1人当りの蔵書冊数 ($\frac{\text{蔵書数}}{\text{人 口}}$)	2.13	2.22	2.38	2.88	3.14
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人 口}}$)	521	614	782	883	676

○登録率・登録者1人当りの貸出冊数の値は、昭和62年度より貸出券の有効期間が3年間になったため、昭和63年度・平成元年度は算出しなかった。また平成3年度・4年度も電算貸出の移行期に当り、全館の登録者の算出基準が異なるため算出しなかった。

○電算館の貸出券には特に有効期限はない。(平成5年度より2年間の利用のなかった登録者は年度末に削除する。)

○貸出冊数は、団体貸出冊数も含む。

○登録者数は、市外登録者と団体登録数も含む。

○蔵書数、年間受入冊数、図書購入費は昭和61年度以降新中央館分も含む。

○改修工事のため、以下のように臨時休館をした。

昭和63年度	5.15 ~ 8.1	深大寺分館・宮の下分館
	9.13 ~ 12.28	神代分館
平成元年度	5.8 ~ 7.31	若葉分館
平成2年度	4.27 ~ 7.31	緑ヶ丘分館
	10.1 ~ 11.30	国領分館

○午前開館の開始

平成元年度	4.20 ~	中央館(「12時から」を「10時30分から」に変更)
平成3年度	4.6 ~	つつじヶ丘分館を除く分館 (土・日曜日「1時から」を「10時30分から」に変更)

VII ハンディキャップサービス

公共図書館は、「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としている。その意味で、ハンディキャップサービス(以下HCサービス)は、「図書館利用にハンディキャップのある人々へのサービス」として位置づけられ、何ら特殊なサービスではない。そして、その基本となるのは図書館利用のための条件整備をすることである。

調布市立図書館におけるHCサービスは、昭和54年4月打合せ会が発足し、その体制づくりが始まった。内容は、主に視覚障害者を対象とした、朗読サービスと点訳サービスが中心である。ここ数年、点訳の枚数、対面朗読の実施回数、テープ雑誌の貸出数などは順調な伸びを示している。利用者の増加に伴い業務量も増大しており、それに対応する体制も整備されなければならない。

これまでのHCサービスは視覚障害者を中心に進めてきたが、今後は、視覚障害者以外についてもサービスの範囲を広げ、「だれでも」利用できる図書館を目指していく必要がある。

1 朗読サービス

平成4年度も、朗読テープのリクエストが広い分野に渡りたくさん寄せられた。これに伴い、テープの貸出も大幅に伸びた。対面朗読は、総合福祉センターの対面朗読室、国領分館のおはなし室などで行った。

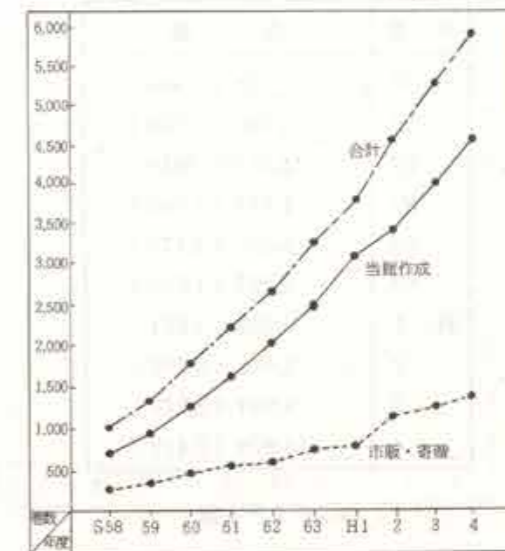
録音テープ所蔵巻数の推移

(表VII-1)

年度	当館作成	市販・寄贈	合 計
S58	735 (208)	305 (249)	1,040 (457)
59	948 (244)	390 (320)	1,338 (564)
60	1,276 (260)	484 (369)	1,760 (629)
61	1,631 (305)	581 (405)	2,212 (710)
62	2,031 (362)	604 (428)	2,635 (790)
63	2,486 (432)	747 (479)	3,233 (911)
H1	3,012 (509)	808 (531)	3,820 (1,040)
2	3,415 (571)	1,129 (667)	4,544 (1,238)
3	3,992 (671)	1,262 (703)	5,254 (1,374)
4	4,525 (755)	1,360 (777)	5,885 (1,532)

○()内はタイトル数

(図VII-1)

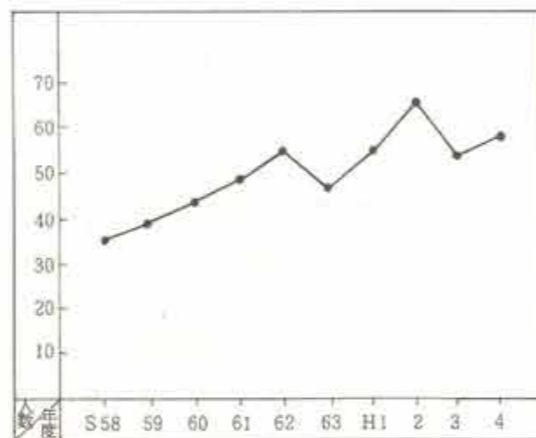


ハンディキャップサービス利用者（録音テープ利用者）数の推移

(表Ⅶ-2)

年度	人数
S 58	36
59	38
60	43
61	48
62	55
63	47
H 1	55
2	65
3	53
4	57

(図Ⅶ-2)



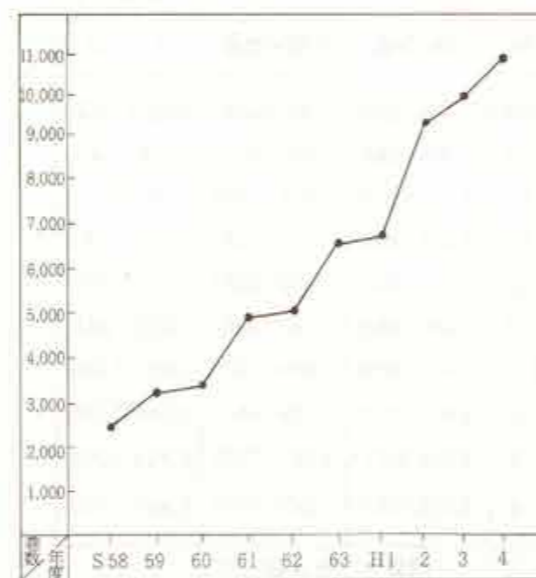
水曜会（朗読サークル）風景

録音テープ貸出巻数の推移

(表Ⅶ-3)

年度	巻数
S 58	2,253 (564)
59	3,180 (730)
60	3,391 (839)
61	4,774 (1,143)
62	5,026 (1,171)
63	6,497 (1,592)
H 1	6,569 (1,871)
2	9,456 (2,405)
3	9,884 (2,247)
4	10,875 (2,418)

(図Ⅶ-3)



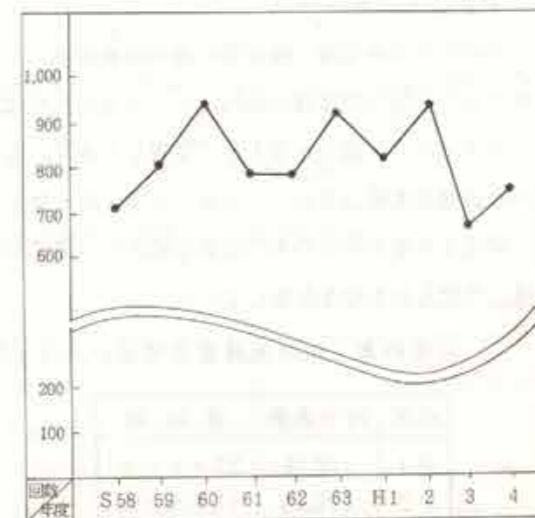
○ () 内はタイトル数

対面朗読実施回数の推移

(表Ⅶ-4)

年度	回数
S 58	699
59	791
60	932
61	781
62	773
63	916
H 1	802
2	948
3	673
4	747

(図Ⅶ-4)



2 点訳サービス

平成4年度は中級点訳者養成講座を実施し、英語点訳・数学点訳に取り組んだ。

リクエストの内容は、利用者の生活にかかわるプライベート・サービスが中心であった。その中には立体コピーの活用も含まれている。また、要望の強かった調布駅などの時刻表や家庭医学書の索引などを点訳し、利用者に配布した。

点訳サービス実施状況 (表Ⅶ-6)

年度	利用者数	リクエスト数	点訳枚数 (両面)	点訳 ボランティア	点字本の所蔵	
					自館作成	寄贈
S62	7人	22件	2,637枚	28人	30タイトル64冊	109タイトル166冊
63	8人	31件	1,935枚	20人	30タイトル64冊	110タイトル172冊
H1	6人	32件	2,890枚	20人	30タイトル64冊	112タイトル174冊
2	10人	40件	3,000枚	35人	31タイトル67冊	115タイトル182冊
3	6人	21件	3,843枚	35人	32タイトル89冊	117タイトル187冊
4	5人	29件	3,990枚	34人	33タイトル143冊	119タイトル192冊

3 大型活字本・拡大写本サービス

平成元年度から新中央館用に大型活字本の収集を始め、平成4年度から分館9館で展示し、貸出を始めた。中・高年の市民を中心に利用が定着し、貸出も伸びている。

拡大写本は、弱視者からの要望に応じて、昭和62年度から市民の拡大写本作成グループ“そよかぜ”に作成を依頼している。

4 子どもへのサービス

市内のあゆみ学園（障害児の通所訓練施設）で、おはなし会（布の絵本の読み聞かせや指あそび等）6回と団体貸出を行った。子どもたちは、回を重ねるごとにお話を楽しめるようになってきており、園の行事として定着してきている。その他にも、例年第一小学校ひまわり学級への訪問を実施しており、平成5年度以降も働きかけを継続していく。

平成2年度から布の本の収集を始めた。現在51タイトルを所蔵している。布の本・布の遊具は、今後も引き続き収集していく。

布の本・布の遊具貸出状況 (表Ⅶ-7)

年度	利用者数	貸出数
H1	1団体	22タイトル
2	2団体	44タイトル
3	2団体	35タイトル
4	1団体	32タイトル

5 PR活動

利用の拡大を目指し、市内在住の1・2・3級の視覚障害者に、利用案内・録音テープ目録を作成し送付している。また、声のお知らせ「オカリナ通信」を利用者全員に送付しているが、特にこの通信の《新作情報》（都内の公共図書館で新たに作られたテープの紹介）などから多くのリクエストが寄せられている。

事業名	内容	備考
オカリナ通信	○新刊の紹介 ○新しいテープのお知らせ ○新着図書案内 など	利用者 57人 テープ版 毎月
図書館だより	○図書館発行の広報（全8ページ）	利用者 57人 テープ版 年4回
利用案内 録音テープ目録 (平成4年度版)	○福祉事務所の協力を得て市内在住の1・2・3級の方と現利用者(161名)に発送	墨字版 テープ版 点字版(希望者)年1回
利用者懇談会	10月7日 於：総合福祉センター ○調布市立図書館のハンディキャップサービスの現状 ○文化プラザ(仮称)のハンディキャップスペースについて(計画) ○質疑応答	参加者 33人

6 ボランティアの養成とボランティアグループ

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読者・点訳者登録会	4月10日 28人	情報交換等の懇談とボランティアの登録手続ビデオ上映「すべての人にすべての本を」
第4回中級点訳者養成講座	4月16日～11月19日 隔週木曜日(全15回) 31人 総合福祉センター・市民センター・公民館	講師 日本点字図書館点訳者 植本 道子氏 「英語点訳の基礎・点字数学の初歩」

グループ名	人数・定例日・会場	代表者	内容
調布ブライユ(点訳)	34人 第2・4木曜日 総合福祉センター・	西村 久子	打ち合せと校正
ちょうふ水曜会(朗読)	41人 第4水曜日 総合福祉センター	海藤 ルミ	作製テープを聞き合い、講評する

Ⅷ 集会・学習活動

1 集会・学習活動の状況

図書館は、社会教育実施機関のひとつとして、市民の生涯学習を促進するため、様々な事業を展開してきた。現在は、図書館が市民の読書啓発のために展開する独自事業と、図書館を拠点に学習活動を実践している「調布ブッククラブ」との共催・協力事業を実施している。独自事業では、話題性の高い作品などをテーマにした講演会や座談会等を開催した。共催等の事業では、市民の学習、創造の場を提供し、生涯学習の確立に努めた。

なお、1年間の学習の総まとめとして実施した「図書館まつり」は、年々充実しながら21回目を数えると共に、今回はTAMAらいふ21協会の協賛を得て、三多摩住民と交流しながら、市民生活に根ざした祭典を展開することができた。

2 行事

(1) 講演会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
発会記念 公開講演会	4月11日 43人 総合福祉センター	大正大学教授 木内 堯央 「伝教大師の生涯と思想」
発会記念 公開講演会	4月22日 51人 総合福祉センター	電気通信大学助教授 島内 景二 「源氏物語の魅力」
発会記念 公開講演会	4月22日 36人 市民センター	大妻女子大学教授 池内 輝雄 「与謝野晶子の『乱れ髪』」
発会記念 公開講演会	4月25日 39人 総合福祉センター	麻布学園教諭 山内 修 「宮沢賢治の人と作品」
文芸講演会	5月16日 53人 総合福祉センター	東京大学助教授 杉橋 陽一 「俳人・細見綾子の作品と魅力」
時局講演会	6月26日 97人 市役所大会議室	放送解説者 平山健太郎 「湾岸戦争後のイスラエルとロシア」
公開講演会	9月8日 32人 総合福祉センター	工学院大学名誉教授 松尾 靖秋 「芭蕉の『奥の細道』」
文芸講演会	10月2日 80人 東洋信託銀行ホール	文芸評論家 尾崎 秀樹 「清張の魅力と文学」
国際理解講演会	10月13日 48人 市民センター	ジュネーブ大学院研究生 トーマス・ナドロスキー 「ポーランド民主化の現状と人々の生活」

文芸講演会	11月6日 58人 総合福祉センター	文芸評論家 金子 昌夫 「開高健の初期作品から『輝ける闇』まで」
文化講演会	11月28日 82人 総合福祉センター	作家 中野 孝次 「日本文化の伝統と清貧の思想」
時局講演会	12月12日 60人 総合福祉センター	日本経済新聞社国際部長 竹谷 俊雄 「アメリカの政権交代後の世界と日本」
文芸講演会	3月25日 32人 市役所大会議室	児童文学者 前川 康男 「坪田譲治 人と作品」
公開講演会	3月27日 34人 総合福祉センター	職員 「『論語』の魅力」



講演会風景

(2) 座談会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
新春に語る	1月9日 88人 総合福祉センター	女優 南風 洋子 「夢 ー去年今年ー」

(3) 講座

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
子どもの本に 親しむ会	10月29日 41人 総合福祉センター	職員 「本の紹介」「本の読み聞かせ」 「手あそび歌の紹介」
	10月30日 37人 総合福祉センター	子どもの本研究者 中村 亜子 「子どもの成長と絵本」

(4) 平和施策事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
沖縄本土復帰 20年記念展示	8月1日～20日 中央館	写真展「沖縄戦と基地」
平和祈念講演会	8月7日 131人 市役所大会議室	沖縄県読谷村長 山内 徳信 「本土復帰20年、戦後の沖縄から発信」
著者を囲む会	9月5日 300人 グリーンホール小ホール	女優 香川 京子 「ひめゆりたちの祈り・沖縄のメッセージ」

(5) 映画会

事業名	期日・参加人数・会場	内容
名画鑑賞会	5月28日 230人 中央公民館ホール	「潮騒」 原作 三島由紀夫 監督 森永健次郎 出演 吉永小百合、浜田光夫ほか
名画鑑賞会	7月15日 299人 中央公民館ホール	「雁」 原作 森 鷗外 監督 豊田 四郎 出演 高峰秀子、芥川比呂志ほか
夏の 子ども映画会	7月18日 288人 中央公民館ホール	「アルプスの少女ハイジ」 原作 ヨハンナ・スピリ 「ロージーのおさんぽ」 原作 バット・ハッチンス
名画鑑賞会	9月16日 223人 中央公民館ホール	「鍵」 原作 谷崎潤一郎 監督 市川 崑 出演 京マチ子、仲代達矢 ほか
名画鑑賞会	10月9日 230人 中央公民館ホール	「天城越え」 原作 松本 清張 監督 三村 晴彦 出演 渡瀬 恒彦、田中裕子ほか
名画鑑賞会	1月19日 190人 中央公民館ホール	「笛吹川」 原作 深沢 七郎 監督 木下 恵介 出演 高峰秀子、田村高廣 ほか
名画鑑賞会	3月17日 220人 中央公民館ホール	「野菊の如き君なりき」 原作 伊藤左千夫 監督 木下 恵介 出演 有田紀子、田中晋二 ほか

(6) 鑑賞会

事業名	期日・参加人数・会場	内容
朗読の会	6月9日 192人 グリーンホール小ホール	俳優 八木 光生 オペラ歌手 佐藤しのぶ 「忍ぶ川」
津軽三味線 鑑賞会	6月30日 230人 グリーンホール小ホール	津軽三味線奏者 岡田 修 「津軽世ざれ節」「流雲」 ほか
朗読の会	10月30日 190人 グリーンホール小ホール	俳優 児玉 謙次 女優 白坂 道子 「楼蘭」「雪の旅・樋口一葉を求めて」

(7) 著者を囲む会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
著者を囲む会	7月11日 85人 総合福祉センター	作家 高井 有一 「立原正秋」

(8) 展 示

事業名	期日・会場	内容
写 真 展	9月29日～10月11日 中央館	写真家 故・木村 隆 「多摩川の秋」

3 第21回図書館まつり

主要テーマ「人から学び本から学ぶ・21世紀の風と光と、調布から発信」

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読の会	2月2日 200人 グリーンホール小ホール	俳優 八木光生 女優 大岡久仁、石村昌子 「カチカチ山」「刺青」
名画鑑賞会	2月4日 340人 中央公民館ホール	「嵐林火山」 原作 井上靖、監督 稲垣浩 出演 三船敏郎、佐久間良子 ほか
文化講演会	2月6日 250人 グリーンホール小ホール	浜松医科大学教授 大原健士郎 「快適な人生を送るために」
子ども映画会	2月7日 390人 中央公民館ホール	「宝島」 原作 スチーブンスン

座談会	2月13日 150人 グリーンホール小ホール	劇作家 杉山義法、女優 新井春美 「杉山義法の世界 テレビ・芝居の魅力」
人形劇公演	2月14日 250人 グリーンホール小ホール	人形劇団れもん座 「たっちゃんといっしょ」
文芸対談	2月18日 1000人 グリーンホール大ホール	詩人 大岡 信、歌人 俵 万智 女優 白坂道子(朗読) 「水・鳥 …… 詩人たちは今」
第21回市民句会	2月19日 250人 グリーンホール小ホール	俳人 澤木欣一、星野麥丘人 ほか5師 「選評と俳話」
著者を囲む会	2月20日 80人 総合福祉センター	作家 長部日出雄 『愉快的撮影隊』
時局講演会	2月22日 100人 市役所大会議室	作家 山下 惣一 「日本の農業・米について」
講演会	2月23日 250人 グリーンホール小ホール	評論家 佐高 信 「男よ、くじけるな!」
児童文学講演会	2月26日 60人 総合福祉センター	児童文学者 三田村信行 「自作を語る」
文芸講演会	2月27日 100人 総合福祉センター	作家 笹山 久三 「『四万十川』自作を語る」
第20回市民歌会	2月28日 90人 総合福祉センター	歌人 片山貞美、来嶋靖生、宮地伸一 「選評と講話」
筆跡・横顔展	2月1日～2月15日 西友ストアー調布店	図書館を訪れた作家、評論家等の筆跡と横顔
俳句・短歌展	2月13日～2月28日 中央館	作品発表(俳句、短歌サークル会員)
日本画展	2月16日～3月1日 西友ストアー調布店	作品発表(日本画サークル会員) (指導) 田中與之子



図書館まつり風景

4 調布ブッククラブ

昭和48年2月に、図書館を拠点とする学習サークルの連合体として発足した「調布ブッククラブ」は、「読むこと」「書くこと」そして「どう生きるかを考える」をテーマに学習を深め、相互啓発を図る幅広い活動を展開している。

平成4年度には56サークルが学習活動し、693人の会員登録があった。

(1) 事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
公開読書会	4月2日 10人 佐須分館	『三国志』を読む会
たきおん 公開合評会	5月10日 30人 総合福祉センター	文芸誌「たきおん29号」の公開創作合評会
彩雅会展	5月25日～6月6日 画廊サンマロー	日本画サークル「彩雅会」による作品発表 (指導) 田中與之子
ブッククラブ総会	6月30日 200人 グリーンホール小ホール	「人から学び本から学ぶ」
緑陰日本画展	7月8日～7月20日 西友ストアー調布店	日本画3サークルによる作品発表 (指導) 田中與之子
夏の合同歌会	8月30日 60人 総合福祉センター	歌人 片山貞美、来嶋靖生、宮地伸一 「選評と講話」
公開合同読書会	9月9日 20人 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 『帽子』『雪の花』
碧彩会展	10月26日～11月7日 画廊サンマロー	日本画サークル「碧彩会」による作品発表 (指導) 田中與之子
秋麗日本画展	11月11日～11月30日 西友ストアー調布店	日本画3サークルによる作品発表 (指導) 田中與之子
人から学び 本から学ぶ 感謝の集い	12月18日 350人 中央公民館ホール	津軽三味線奏者 岡田 修 「第21回図書館まつりに向けて」

(2) 刊行物

刊行物名	発行日	内容
文芸誌「たきおん29号」	4月12日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
随筆集「扉ととびら」10号	4月18日	創作サークル「随想を書く会」会員による文芸誌
句集「噴水」	7月1日	俳句サークル会員による俳句集

歌集「郭公」	7月1日	短歌サークル会員による短歌集
文芸誌「たきおん30号」	10月11日	創作サークル「たきおん」会員による文芸誌
月曆「1993 調布カレンダー」	10月20日	版画家・故、関野準一郎の「東海道五十三次」の月曆

(3) 読書グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	テキスト
あすなろ 読書会	第2木曜日 午前 中央公民館ほか 12人	社会教育指導員 古田 耿介	「至高聖所(アバトーン)」松村栄子著 「ころろ」夏目漱石著 ほか9冊
柏 読書会	第4木曜日 午後 会員宅 6人	社会教育指導員 大出きたい	「斜陽」太宰治著 「放浪記」林芙美子著 ほか9冊
古典文学を 読む会	第1土曜日 午後 若葉分館 15人	—————	「徒然草」第81段から第141段まで
互葉読書会	第2水曜日 午後 若葉分館 7人	—————	「夕陽の河岸」安岡章太郎著 「みちづれ」三浦哲郎著ほか9冊
七宝読書会	第2水曜日 午前 富士見分館 9人	社会教育指導員 古田 耿介	「戦いすんで日が暮れて」佐藤愛子著 「青春の蹉跎」石川達三著 ほか9冊
針布読書会	第3木曜日 午前 神代分館 13人	—————	「女たちのアジア」松井やよい著 「日本の舞踊」渡辺保著ほか8冊
清和読書会	第3木曜日 午前 富士見分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「綾の鼓」中里恒子著 「湯の宿の女」平岩弓枝著 ほか9冊
読書会 夜行列車	第2水曜日 夜間 中央館 8人	—————	「サザンスコール」高樹のぶ子著 「春雷」立松和平著 ほか10冊
白鳥読書会	第1木曜日 午前 神代分館 8人	社会教育指導員 古田 耿介	「ナナカマドの街から」三浦綾子著ほか10冊及び「伊勢物語」
ふたば 読書会	第4水曜日 午前 若葉分館 15人	社会教育指導員 古田 耿介	「京の小袖」芝木好子著 「狼奉行」高橋義夫著 ほか9冊
芙蓉読書会	第3土曜日 午前 国領分館 6人	社会教育指導員 古田 耿介	「宴」利根川裕著 ほか10冊及び「典座教訓」
緑ヶ丘 読書会	第4水曜日 午前 緑ヶ丘分館 6人	社会教育指導員 大出きたい	「思い出トランプ」向田邦子著 「冬のかたみに」立原正秋著 ほか9冊
宮の下 読書会	第2火曜日 午前 宮の下分館 9人	社会教育指導員 大出きたい	「にこりえ」樋口一葉著 「夏の葬列」山川方夫著 ほか9冊

名作読書会	第2金曜日 午前 福祉センター 20人	社会教育指導員 大出きたい	「遠野夢夫人」三好京三著 「二十歳の火影」宮本輝著 ほか9冊
やまなみ 読書会	第1火曜日 午前 深大寺分館 7人	社会教育指導員 古田 耿介	「太陽の子」灰谷健次郎著 「菊月夜」山本周五郎著 ほか9冊
若葉読書会	第1・3水曜日 午後 若葉分館 12人	—————	「源氏物語」

(4) 研究グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講師	内 容
赤彦・茂吉 を読む会	第3木曜日 午後 市民センターほか28人	歌人 宮地 伸一	斎藤茂吉の作品と人物を研究
近代史を 学ぶ会	第1月曜日 午前 福祉センターほか10人	高崎芸術短大教授 萩原 祥三	明治から近代の歴史を学ぶ
源氏物語 入門の会	第4水曜日 午前 市民センターほか49名	電気通信大助教授 島内 景二	登場人物と和歌に着目した「源氏物語」の研究
最澄思想を 学ぶ会	第2土曜日 午前 福祉センター 28人	大正大教授 木内 堯央	最澄の思想と生き方を探る
三国志を 読む会	第1・3木曜日 午後 佐須分館 8人	—————	「三国志」の輪読と解釈
聖書を 読む会	第3火曜日 午前 福祉センターほか21人	立教大教授 月本 昭男	聖書を通じたイエスの研究
太平記を 読む会	第4水曜日 午後 佐須分館 6人	—————	「太平記」の輪読と解釈
芭蕉・蕪村 を読む会	第2火曜日 午前 福祉センター 21人	工学院大名誉教授 松尾 靖秋	松尾芭蕉の作品と人物を研究
枕草子 を読む会	第3日曜日 午前 市民センター 14人	国文学者・歌人 片山 貞美	平安朝文学の解釈と鑑賞
万葉集を 読む会	第3土曜日 午後 第百生命 20人	国文学者・歌人 片山 貞美	「万葉集」の作品解釈と鑑賞
宮澤賢治を 読む会	第4土曜日 午後 福祉センターほか36人	麻布学園教諭 山内 修	宮澤賢治の作品と人物を研究
民俗学 入門の会	第1水曜日 午前 福祉センターほか32人	日本民俗学会会員 菊地 正	身近な伝承や民俗学を学ぶ
明治文学を 読む会	第3水曜日 午後 市民センター 28人	大妻女子大教授 池内 輝雄	明治時代の作家と作品を研究
論語を 読む会	第4土曜日 午前 福祉センター 11人	職 員	論語の素読と解釈

(5) 俳句・短歌グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講 師
火 曜 句 会	第2火曜日 午後 神代分館 20人	俳人 緒方 栞葉
煌(きら)ら 句 会	第3金曜日 午後 中央公民館ほか 24人	職 員
金 曜 句 会	第2金曜日 午後 中央公民館ほか 15人	俳人 原田走日朗
合 同 句 会	第4土曜日 午後 福祉センターほか 11人	俳人 茂 恵一郎
水 曜 句 会	第4水曜日 午後 若葉分館 20人	俳人 丹生谷百合
た つ く り 句 会	第3木曜日 午後 中央公民館ほか 14人	俳人 原田走日朗
と(にすい) 句 会	第2水曜日 午後 市民センターほか 13人	俳人 下川 紀水
二木(にもく) 句 会	第2木曜日 午後 市民センターほか 20人	職 員
風舎(ふうしゃ) 句会	第1火曜日 午後 市民センターほか 19人	俳人 若月 瑞峰
み ず き 句 会	第2金曜日 午後 市民センターほか 28人	職 員
木 曜 句 会	第2木曜日 午後 中央公民館ほか 11人	俳人 斎藤 徳司
からすうり 歌 会	第2月曜日 午後 会員宅 17人	会 員
水嶺(すいれい) 歌会	第3金曜日 午後 市民センターほか 20人	国文学者・歌人 片山 貞美
潮 流 歌 会	第4日曜日 午前 総合福祉センターほか 19人	歌人 宮地 伸一
福 寿 草 歌 会	第3金曜日 午前 神代分館 12人	職 員
三 日 月 歌 会	第4水曜日 午後 市民センターほか 19人	歌人 来嶋 靖生
徑 歌 会	第3日曜日 午後 市民センターほか 18人	国文学者・歌人 片山 貞美

(6) 創作グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	講 師	内 容
随想を書く会	第3土曜日 午後 神代分館 23人	元朝日新聞編集委員 外村 民彦	随筆集「扉(とびら)」10号の合 評と創作活動
た き お ん	第2日曜日 午後 福祉センター 15人	—————	文芸誌「たきおん」29・30号の 合評と創作活動
童話創作の会	第3金曜日 午前 福祉センター 9人	児童文学者 西本 鶏介	童話の創作と互評
み ち く さ	第3木曜日 午前 深大寺分館 5人	職 員	小説・短歌などの創作と互評

(7) 絵画グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	内 容	講 師
彩 雅 会	第1・3火曜日 午前 総合福祉センター 13人	日本画	画家 田中與之子
朱 彩 会	第1・3土曜日 午前 総合福祉センター 11人	日本画	画家 田中與之子
碧 彩 会	第1・3土曜日 午後 総合福祉センター 13人	日本画	画家 田中與之子

(8) 放送番組で学習するグループ

サークル名	定例日・会場・会員数	指 導	内 容
古典講読の会	第2木曜日 午前 中央公民館ほか 8人	会 員	ラジオ放送番組「古典講読」で枕草子を聞 き、学習する。併せて源氏物語を読み、理 解を深める。

(9) 文学散歩同好会

回次	期日・場所・参加人数	講 師	内 容
370	4月24日 長野県 42人	佐久市文化財審議委員 並木 張	佐久平の犀星、牧水、藤村の「千 曲川スケッチ」、春夫の「戦国の 佐久」、檀の「佐久の夕映」
371	5月19日 新宿区 46人	新宿区文化財専門委員 高橋 清輔	新宿落合の林芙美子記念館、九条 武子、佐伯祐三
372	5月25日~26日 滋賀県 42人	大津市教育委員会 杉江 進	新緑の最澄、漱石の「虞美人草」 の比叡山、水上勉の「湖笛」、龍 之介、井上靖の西近江路
373	6月10日 文京区 45人	文京区文化財専門委員 戸畑 忠政	鷗外の観潮楼と犀星、四迷の団子 坂、根津神社

374	6月23日 群馬県	42人	新島学園高等学校教諭 淡路 博和 島崎藤村研究家 里見 倫夫	新島襄の『十二の石塚』、湯浅半月、花袋の安中、藤村の『下仁田の宿屋』、富岡製糸場
375	7月10日 新座市	43人	新座市教育委員会 藤井 孝文	緑陰の平林寺の倉田百三、花袋と野火止用水
376	9月17日 八王子市	40人	八王子市中央図書館協議 会委員 高澤 壽民	透谷の『三日幻境』と八王子の絹の道
377	9月28日～29日 長野県	42人	長野市文化財保護審議委 員 北村 保	秋麗の信州松代の佐久間象山と松井須磨子、久米正雄の『不肖の子』、直哉、武郎の別所温泉
378	10月7日 中央区	48人	中央区郷土史家 久米庚之助	『日本橋』の鏡花と岡本かの子、潤一郎の人形町
379	10月27日 神奈川県	42人	大磯町文学史跡説明員 外川 敏子 伊勢原市文化財保護委員 小沢 幹	大磯の藤村、新島襄、高田保の『ぶらりひょうたん』、太田道灌の丸山城跡と一茶、其角の大山寺
380	11月5日 台東区	52人	台東区郷土史家 小木曾淑子	上野の不忍池と下町風俗資料館、東照宮
381	11月15日～17日 山形県	43人	いでは文化記念館長 星野 文紘 鶴岡市市史編纂委員 堀 司朗 ほか	立原正秋の『雪のなか』、利一の酒田、鶴岡、森敦の『月山』、折口信夫の『村で見た黒川能』
382	12月8日 千代田区	49人	千代田区立四番町歴史民 俗資料館長 岡部 喜丸	『江戸城内濠によせて』の北の丸、馬琴の九段
383	1月7日 鎌倉市	60人	元鎌倉図書館長 鹿兒島達雄	新春の鎌倉材木座の文学と古刹・光明寺、九品寺
384	1月29日 千葉県	44人	成田市教育委員会 大木 英行	龍之介の『美しい村』と佐倉歴史民俗博物館、光太郎の『春駒』、三重吉、虚子の成田山新勝寺
385	3月8日～9日 愛知県	43人	鳳来町文化財専門委員 林 正雄	早春の渥美湾を望む蒲郡、菊池寛の『火華』、岡崎城、牧水の『鳳来寺紀行』と長篠城跡
386	3月26日 港区	57人	港区文化財保護審議会委 員 俵 元昭	白秋の『麻布十番』と藤村、荷風、蒲原有明の麻布

IX 視聴覚ライブラリー

視聴覚教育活動の普及と視聴覚ライブラリーの利用促進を図るため、教材・機材を整備し、次の事業を実施した。

教材については、利用の多い16ミリフィルムを購入するとともに、図書館事業である講演会の記録テープの作成も実施した。また、一般家庭に普及したビデオを視聴覚教育活動に取り入れるため、ビデオ機器を整備し、貸出を開始した。

1 事業

(1) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造の理解と操作技術の修得に重点をおき、併せてフィルムの取扱いや映写会の安全運営についても理解を深めるため講習会を実施した。これにより、市内各地域での視聴覚教育の普及と映画会の安全が確保された。

期 日 5月23日・5月24日（2日間で計12時間の講習）

修了者 13人

(2) 16ミリ発声映写機検定

16ミリ映写機及びフィルムの安全利用のため、小・中学校、事業所等の保有する16ミリ映写機の機能等の検定を実施した。また、この検定は年1回だが、新規購入分の映写機については随時実施した。

期 日 6月17日～6月19日

検定台数 84台

(3) 視聴覚機器操作講習会

ビデオ等は手軽さから一般家庭に普及し、そのソフトも充実し、視聴覚教育に占める割合は年々高まっている。今回はこの点を重視し、各種視聴覚機器の操作講習会を実施した。

(4) 地域における映画会の指導・援助

映画会の開催、フィルムの選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、地域映画会の援助・育成を実施した。

(5) 都立多摩社会教育会館からの16ミリフィルムの配送

東京都立多摩社会教育会館では、都内の利用団体に便宜を図るため、各市町村の視聴覚ライブラリー等を貸出し窓口として16ミリフィルムの配送サービスを実施しており、当ライブラリーにおいても、年々このサービスの利用が定着してきている。

2 視聴覚教材・機材の利用状況

月別視聴覚教材・機材貸出数 (表Ⅸ-1)

教材・機材	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	保有数
16ミリフィルム		28	44	44	92	69	55	69	69	69	36	39	52	666	396
ビデオテープ		2	1	1	1	4	1	14	1	11		2	3	41	152
スライドフィルム			1							5				6	261
16ミリ映写機		6	6	3	12	16	14	8	6	18	4	4	19	116	13
スライド映写機		3	1	3	4	1	1	3	3	3	1	3	1	27	7
オーバーヘッドプロジェクター(OHP)					11	4	16	29				2	1	63	3
スクリーン		3	2	2	21	10	16	28	2	8	1	5	5	103	12
暗幕			7	2	6		2	5	5	13				49	6
ビデオプロジェクター				1		1		2		4			1	9	1
その他		6	3	8	2	3	5	12	7	4	5	5	9	69	

月別団体別利用者数 (表Ⅸ-2)

団体別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署		389	372	187	798	350	1,953	2,970	288	171		395	243	8,116
図書館		197	131	361	258	430	206	411	388	1,133	251	366	272	4,404
幼稚園		393	264	162	1,454	1,453	546	49	629	1,006	760	891	215	7,822
保育園		131			220		192		118	189	38	65	583	1,536
児童館		409	1,007	816	1,045	502	1,279	843	667	572	473	452	384	8,449
小学校		30	407				52	347				77	164	1,077
中学校			271										388	659
高校・大学他									63	18				81
社会教育団体					269	747			355	460				1,831
福祉関係団体												60		60
地域団体						653	635	145		470	178		128	2,209
その他		87		220	209		31	593	208	158	8	81	437	2,032
計		1,636	2,452	1,746	4,253	4,135	4,894	5,358	2,716	4,177	1,708	2,387	2,814	38,276

月別16ミリフィルム団体別貸出件数 (表Ⅸ-3)

団体別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署		1	1	2(1)	1	2	2	6	2	2		1	1	21
図書館		1	1	1	5	10	1	4	2	12	1	3	2	43
幼稚園		2	2	2	10	4	3	1	3	4	3	3	2	39
保育園		2			2		3	2(1)	2	1	1	1	5	19
児童館		5	13	14	17	5	13	14	12(1)	11	8	9	7	128
小学校		1	1				2						2	6
中学校					2									2
高校・大学他									2					2
社会教育団体					2(1)	1			2	4				9
福祉関係団体												1		1
地域団体						6	4(1)	2	2		2		2	18
その他					1		1	2	1	4(1)		3(1)	6(1)	18
計		12	18	19	40	28	29	31	28	38	15	21	27	306

()内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

月別16ミリフィルム団体別貸出本数 (表Ⅸ-4)

団体別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
官公署		1	1	5(4)	1	5	2	20	4	3		1	1	44
図書館		1	2	2	9	22	2	6	4	21	1	6	4	80
幼稚園		4	3	5	30	7	5	2	11	8	8	6	3	92
保育園		6			4		7	4(1)	4	1	2	3	10	41
児童館		13	34	32	32	11	23	27	22(2)	19	16	15	16	260
小学校		3	4				3						3	13
中学校					6									6
高校・大学他									9					9
社会教育団体					5(1)	6			3	8				22
福祉関係団体												3		3
地域団体						18	10(1)	3	8		9		4	52
その他					5		3	7	4	9(1)		5(1)	11(1)	44
計		28	44	44	92	69	55	69	69	69	36	39	52	666

()内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別視聴覚教材・機材保有数及び貸出数 (表Ⅸ-5)

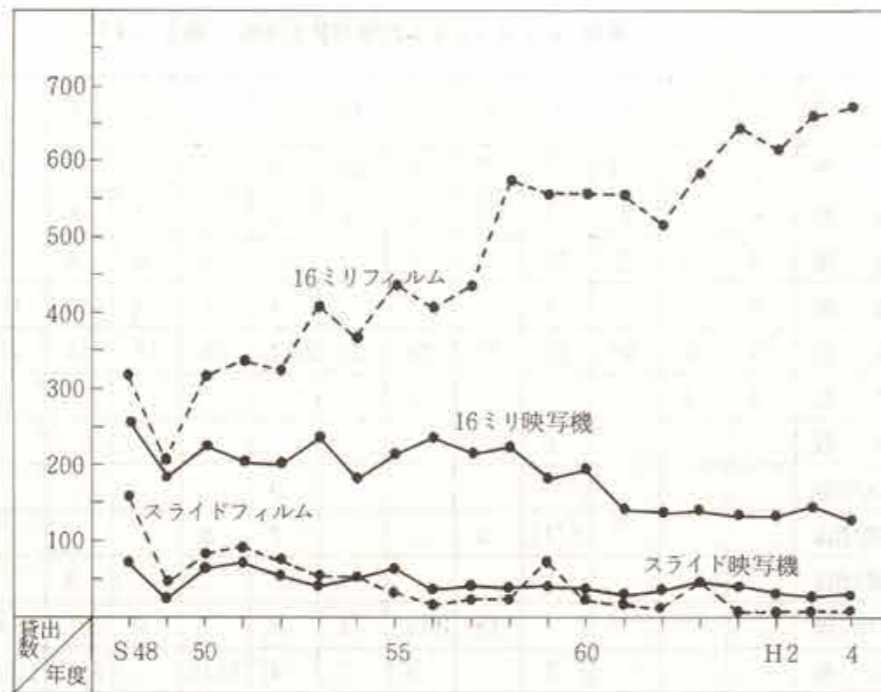
(上段は利用数、下段は保有数)

年度 教材・機材	S 48	49	50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H 1	2	3	4
16ミリフィルム	315	205	313	438	406	435	572	556	556	554	518	585	648 (25)	619 (31)	651 (18)	666 (12)
	75	94	122	194	207	218	234	244	256	274	291	315	333	359	383	396
16ミリ映写機	255	187	225	218	234	219	223	185	195	146	140	141	139	137	143	116
	5	5	6	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10	10	13	13
スライドフィルム	158	42	86	32	19	25	25	72	27	20	17	45	7	7	1	6
			261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261
スライド映写機	70	26	64	69	39	40	39	40	39	24	37	49	41	30	23	27
	4	4	4	4	4	4	4	7	7	7	77	8	7	7	7	7
ビデオテープ																41
																152
オーバーヘッド プロジェクター		10	6	3	1	10	12	21	19	8	14	15	8	8	10	63
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3

○ビデオテープは平成4年度より貸出開始。

○〔 〕内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別主要視聴覚教材・機材貸出数の推移 (図Ⅸ-1)



X 将来計画と新中央図書館構想

調布市立図書館は、開館以来、図書資料や事業をとおして市民生活の中に根をおろし、生涯教育をはじめ、様々な文化活動の場として定着している。社会教育施設の中でも利用率の高い施設の一つにあげられる。

それは、市民の図書館に対する期待が大きいということでもあり、それだけに図書館は市民の求めるものを的確にとらえて、時代に即応したサービスを提供していかなければならない。

現在、図書館では、市民のニーズを基本にして、蔵書の充実、施設の整備、新中央図書館建設などの計画を推進している。

特に新中央図書館は、市民の要望も多く、図書館機能のレベルアップ、そして単に図書館一施設だけの問題ではなく、市の社会教育行政の充実、市民文化の向上という点からも早期完成が望まれる。

今後の課題としては、基本計画に掲げられている計画をさらにおし進めるとともに、図書館の利用圏や市民の生活動線を再検討した分館体制の見直し、さらに、開館以来の歴史と活動の実績を貴重な財産としながらも、常に新鮮な目で図書館活動を見つめ、市民の要求に応えられる図書館づくりが必要である。

なお、新中央図書館は現在、次のテーマを基本理念として計画が進められている総合文化施設(仮称・市民文化プラザ)の一環として構想されている。

1 学習活動の場づくり

新しく学習すべき内容が次々出現する時代にあって、「どこでも、だれでも、いつでも学べる」生涯学習の推進拠点とする。

2 文化活動の場づくり

地域の歴史や風土に根ざした個性的で特色のある調布文化の創造拠点とする。

3 ふれあいの場づくり

文化的豊かさを求める傾向は今後一層強まることから、文化活動を通じた人のふれあいから新しいコミュニティが形成される場とする。

4 健康増進の場づくり

より健康でありたいという市民のニーズの高まりの中で、乳幼児期から高齢期までの年齢に応じた保健事業を展開する場とする。

5 憩いのひろばづくり

市民に親しまれ、いつでも気軽に利用できる、市民の自由な憩いのひろばとする。

6 情報基地づくり

行政サービスや市民文化の向上を図るため、高度な情報機能を取り入れながら、行政及

び市民が相互に情報の提供や利用を行える情報システムを構築するなど、地域の情報化を進める拠点として構想する。

7 国際交流の場づくり

広く世界の人々と交流し、世界各国の様々な文化に対する認識を深めることにより、国際性を養い、また同時代にそれぞれの文化圏で生きる人々を理解することにより、国際平和と親善に寄与する場として構想する。

新中央図書館計画案の概要は次のとおりである。今後、総合文化施設の中で全体の調和を図りながら決定されることになる。

1 施設の機能及び基本的性格

25万冊の蔵書を持ち、市内10カ所の分館を有機的に結び、資料、調査、運営等にわたって図書館システムの総合調整機能を果たす中央図書館とする。

また、各種情報資料及びコンピュータによるデータベースの活用を図る等、先端技術を駆使して多様な情報提供サービスを展開する。市民の情報センターとしての性格を持つものとする。

2 各スペースの計画

(1) 4階 860㎡ 収容人員450人

(ア) 一般開架室 560㎡

一般開架室は、新中央図書館のメインフロアを構成する最も重要な空間である。児童・高齢者を含む一般市民、職業人、研究者、学生、外国人等、多岐にわたる利用者が自由に利用できるよう配慮するとともに、障害を持つ人びとについても同様である。

4階部分の一般開架室のスペースは、図書(実用書、文学、旅行ガイド、文庫本等)、新聞、雑誌等からなる開架資料のスペース、資料検索コーナー、コピーサービス等で構成される。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	5万冊
新聞・雑誌コーナー	500誌 24席
資料閲覧コーナー	28席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(イ) 児童室 300㎡

児童室の利用者は、幼児から中学生くらいまでと幅広く、2～3段階の年齢層に応じたスペースを用意する。

書架は、120cm、4段程度を上限とし、机の形は、スペースの有効利用を考えた種々の組合せをするとともに、正しい姿勢での読書を基本とするため、椅子にも配慮する。

(a) 機能

資料の閲覧、貸出、返却、複写、展示、検索、相談等、図書館資料に関する基本的な利用サービス及び提供を行う。

(b) 構成

図書	2万冊
児童用閲覧コーナー	36席
利用者用端末	1台
おはなし室	50人(収容)

子どもたちに読書の喜びを知らせるために、読み聞かせや、お話をする部屋がおはなし室である。小学生以下の50人前後の子どもが入れるスペースを確保する。

なお、通常は親子で利用できる読書コーナーとして開放し、機能としては、おはなし会、小学生読書会、ミニ映画会、図書館主催の児童向け各種行事を行う。

(2) 5階 860㎡ 収容人員300人

(ア) 一般開架室 460㎡

一般開架室は、4階と5階にそれぞれ振り分け5階部分には、やや専門的な分野の図書資料を中心に備える。

(a) 構成

図書	5万冊
資料閲覧コーナー	44席
利用者用端末	2台
コピー機	1台

(イ) レファレンス室 400㎡

レファレンス室は、参考図書群、目録、新聞縮刷版、全国の電話帳、郷土資料、行政資料等により構成する。また、調査・研究にふさわしい静かな閲覧スペースを確保する。

(a) 機能

調査・研究のための資料提供、図書館資料に関する相談業務を行うとともに、調布市政に関する資料の収集及び提供等を行う。

(b) 構成

参考図書	1万冊
------	-----

郷土・行政資料コーナー	1万冊
資料閲覧コーナー	30席
利用者用端末	1台
コピー機	1台

(ウ) 映画関係資料コーナー

全国レベルでの映画関係資料その他の資料の収集を図り、保存を中心としながらも、一部展示スペースを設けて公開する。

日本映画関係資料	1万冊
展示コーナー	

(3) 6階 860㎡

(ア) 朗読・点訳コーナー 120㎡ 収容人員200人

録音資料及び点字資料、対面朗読室、録音室等により構成する。また、作業スペースは、貸出、返却、郵送、録音、点訳等の事務や作業のほか、利用者及びボランティアの人びととの打合せや相談にも使用する。

(a) 機能

通常の図書館サービスと同様のサービスを提供することを目的とし、おもに視覚障害者を対象とした諸事業を行う。

(b) 構成

対面朗読室	2室
録音室	2室
点訳奉仕ルーム	
資料閲覧コーナー	

(イ) 学習室 200㎡

(a) 機能

原則として、図書館資料を用意しないで、学習専用のスペースとして機能させる。その際、席の順番を待つ人の行列に配慮するとともに学生のための専用とせず、社会人も利用できるよう配慮する。

(b) 構成

学習用机	100席
社会人用机	20席

(ウ) 読書会室 96㎡

読書会室は市民の自発的な生涯学習と、その創造的活動とを援助するという図書館本来の活動の一環として設け、図書館のもつ資料とサービスとの関連のもとで読書会等の

集会活動の場として活用する。

(a) 機能

30人前後の集会活動が随時開催することができるよう2室を用意し、図書館を利用する市民の読書会等及び市民を対象とした諸事業を行う。

(b) 構成

読書会室	30席×2室
------	--------

(エ) 小会議室

20人程度の会議等多目的に使用可能なスペースとして活用する。

(a) 構成

会議室	20席
-----	-----

(オ) 電算室 30㎡

調布市立図書館のすべての蔵書を電算によって管理し、資料管理の充実とサービスの質的向上を図るとともに、図書館電算システムの拠点とする。

(カ) 選書室

出版物に直接あたって受入れの是非を決める等、購入予定図書や寄贈図書等多様な図書の選定を行うとともに、これらの図書の選定会議ができるようなスペースも確保する。

(キ) 装備室 48㎡

受入れの決定した図書資料について各館毎に、電算用ラベルや、分類ラベル、バーコードラベル等の図書装備を行う。

(ク) 整理室 82㎡

図書、新聞、雑誌、その他図書館資料の受入れ、整理、除籍及び修理等を行うとともに、納入された図書等の荷解き、検品、配送荷造り作業(メール作業を含む)等を行う。

(ケ) 休憩コーナー

学習室、読書会室等の利用者がくつろぐスペースとして用意する。また、同時に展示スペースを用意し図書館からの情報提供の場として各種の企画展示を行う。

(4) 地下1階 400㎡

書庫 400㎡

閉架書庫は、開架スペースに収容できない資料(貴重書、利用頻度の低下したもの、その他開架できないもの)を一定期間保存するとともに、5年分の雑誌のバックナンバー、新聞、逐次刊行物を収容する。

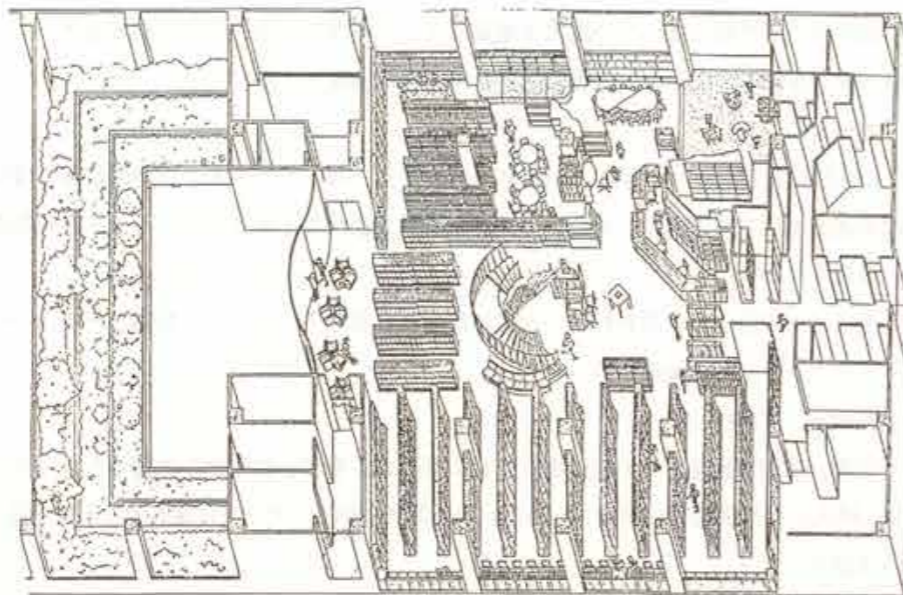
(a) 機能

開架部分の延長として、バックアップ機能を十分果たせるよう位置づける。また、スペースの有効活用を図るため書架は積層書架として下段を固定書架、上段を電動式

可動書架とする。

b) 構成

固定書架	10万冊
電動式可動書架	15万冊



新中央図書館 4階 一般開架室・児童室立体図

XI 資料

1 運営組織

調布市立図書館の運営は、次に掲げる調布市の条例・規則によって定められている。さらに、条例等に基づいて、規程や要綱が設けられており、日常の図書館活動を管理、運営している。

- (1) 調布市立図書館設置条例（昭和41年3月30日条例第10号）
- (2) 調布市立図書館館則（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (3) 調布市立図書館処務規程（昭和41年3月30日教育委員会規程第1号）
- (4) 調布市立視聴覚ライブラリー運営要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱）
- (5) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱第3号）
- (6) 調布市立図書館集会室使用基準（昭和41年11月1日教育委員会基準）
- (7) 調布市立図書館協力員に関する内規（昭和50年4月1日教育委員会内規）

2 分掌事務

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画、運営、統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 本館内の取締りに関する事。
- (8) 庶務に関する事。

図書係

- (1) 図書館資料の収集及び利用等に関する事。
- (2) 図書館資料の分類排列等に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 文庫活動の援助及び育成に関する事。
- (5) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (6) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- (7) 図書室等の利用に関する事。
- (8) 図書館資料の相互貸借に関する事。

3 開館日と休館日

館別	開館時間	休館日
中央館	日・水・木・金曜日 10時30分～17時30分	月曜日 第3日曜日 第4金曜日
	火・土曜日 10時30分～19時00分	
分館	火～金曜日 13時00分～17時00分	
	土・日曜日 10時30分～17時00分 (つつじヶ丘分館は土・日も13時00分～17時00分)	

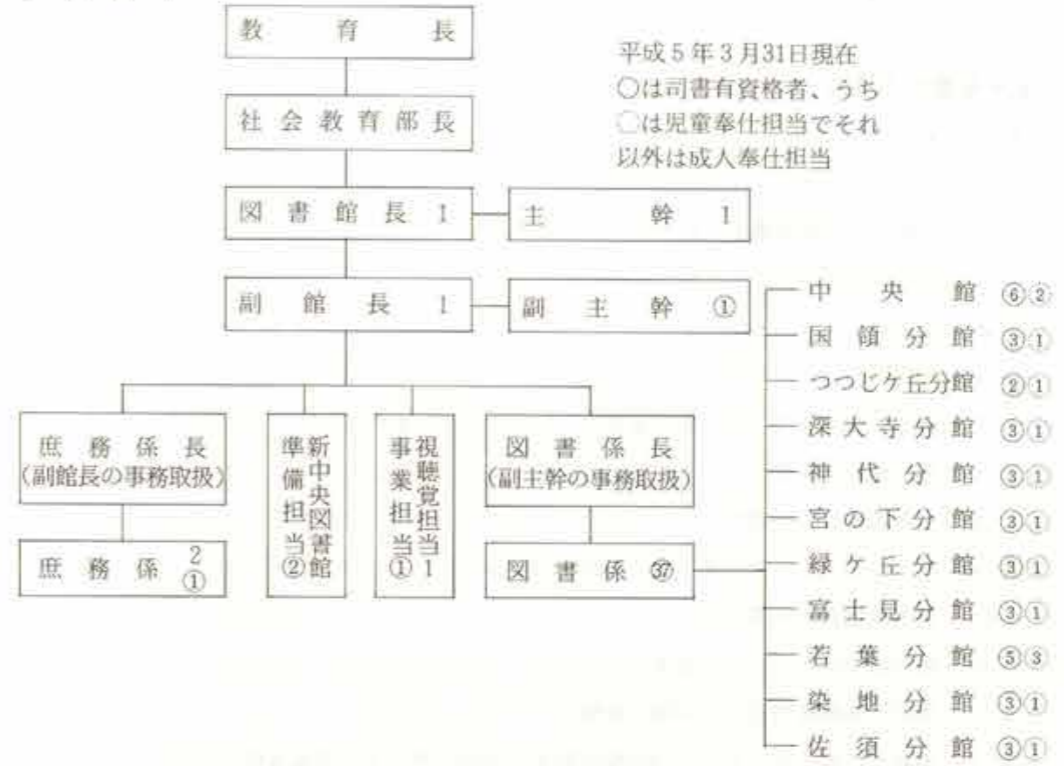
○休館日はこのほかに、国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
 年末年始
 臨時休館（その都度お知らせする）

4 開館日数と開館時間

平成4年度

館	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
開館日数	中央館	23	23	23	25	24	22	24	21	22	21	21	23	272
	国領分館	23	18	17	25	24	10	24	21	22	21	21	23	249
	宮ノ下分館	23	18	17	25	24	10	24	21	22	21	21	23	249
	若葉分館	23	18	17	25	24	10	24	21	22	21	21	23	249
	他の分館	23	18	17	25	24	22	24	21	22	21	21	23	261
開館時間	中央館	183.5	183.5	182	200.5	190.5	175	192	183.5	175	166.5	166.5	183.5	2,182
	国領分館	109.5	89.5	80.5	117.5	118.5	47.5	109.5	104	105.5	101.5	101.5	107	1,192
	宮ノ下分館	109.5	89.5	80.5	117.5	118.5	47.5	109.5	104	105.5	101.5	101.5	107	1,192
	若葉分館	109.5	89.5	80.5	117.5	118.5	47.5	109.5	104	105.5	101.5	101.5	107	1,192
	つつじヶ丘分館	92	92	92	100	96	88	96	84	88	84	84	92	1,088
	他6館	109.5	89.5	80.5	117.5	118.5	105.5	109.5	104	105.5	101.5	101.5	107	1,250
合計	開館日数	253	203	193	275	264	206	264	231	242	232	253	2,848	
開館時間	1,261	1,081	998.5	1,358	1,353	1,038.5	1,273.5	1,203.5	1,212.5	1,164	1,164	1,238.5	14,346	

5 組織図



6 年度別職員数の推移

(数値は3月31日現在)

年度	館長	副館長	係長	事務職	中央館 司書	分館 司書	小計	名譽 館長	その他	合計
S41	(兼)1			2	2		5	1	1	7
42	1			2	4		7	1	1	9
43	1		1	2	4		8	1	2	11
44	1		2	2	4	2	11	1	2	14
45	1		2	2	4	4	13	1	2	16
46	1		1	2	4	8	16	1	2	19
47	1		1	4	5	10	21	1	3	25
48	1		1	4	6	10	22	1	4	27
49	1		1	5	5	18	30	1	6	37
50	1	1	1	6	5	20	34	1	8	43
51	1	1	1	6	6	20	35	1	7	43
52	1	1	2	5	6	22	37	1	6	44
53	1	1	2	5	6	23	38	1	8	47
54	1		2	5	6	24	38	1	8	47
55	1		2	5	6	27	41	1	8	50
56	1		2	5	6	27	41	1	7	49
57	1		3	3	7	30	44	1	7	52
58	1		3	3	7	31	45		8	53
59	1		3	3	7	31	45		8	53
60	1		3	3	8	31	46		8	54
61	1		3	3	8	31	46		8	54
62	1	1	2	3	8	31	46		8	54
63	1	1	1	3	8	31	45		9	54
H1	1	1	2	3	8	31	46		15	61
2	1	1	2	3	8	31	46		15	61
3	1	1	5	3	7	31	48		29	77
4	2	2	4	4	6	30	48		30	79

○その他とは、協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員。 ○事務、司書は担当別人数（管理職、係長を除く）。
 ○館長は主幹、副館長は副主幹、係長は主査をそれぞれ含む。

Ⅷ 年 表

平成4年度のあゆみ

- 4/ 1 協力員24人委嘱
- 10 朗読・点訳ボランティア登録会
- 16 中級点訳者養成講座(延15回)～11/19
- 17 府中市立図書館より視察
- 5/15 協力員2人委嘱
- 16 文芸講演会(杉橋 陽一氏)
- 23 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ～5/24
- 26 特別整理(曝書)各分館 ～6/7
- 28 名画鑑賞会「潮騒」
- 6/ 9 朗読の会(八木 光生氏・佐藤 しのぶ氏)
- 20 視聴覚機器操作講習会
- 26 時局講演会(平山 健太郎氏)
- 30 津軽三味線鑑賞会(岡田 修氏)
- 7/ 1 電算用「利用カード」の登録受付開始(国領・宮の下・若葉分館)
- 11 著者を囲む会(高井 有一氏)
- 14 伊勢原市立図書館より視察
- 15 協力員2人委嘱
- 名画鑑賞会「雁」
- 18 夏の子ども映画会「アルプスの少女ハイジ」「ロージーのおさんぽ」
- 24 稲城市立図書館より視察
- 30 協力員1人委嘱
- 8/ 1 沖縄本土復帰20年記念展示 ～8/20
- 7 平和祈念講演会(山内 徳信氏)
- 9/ 5 著者を囲む会(香川 京子氏)
- 16 電算稼働(国領・宮の下・若葉分館)
- 名画鑑賞会「鍵」
- 29 写真展「多摩川の秋」(故、木村 隆氏)～10/11
- 10/ 2 文芸講演会(尾崎 秀樹氏)
- 9 名画鑑賞会「天城越え」
- 13 国際理解講演会(トーマス・ナドロスキー氏)

- 10/20 調布カレンダー頒布
- 27 宇都宮市立図書館より視察
- 29 子どもの本に親しむ会
- 30 子どもの本に親しむ会(中村 柁子氏)
- 30 朗読の会(児玉 謙次氏・白坂 道子氏)
- 11/ 6 文芸講演会(金子 昌夫氏)
- 28 文化講演会(中野 孝次氏)
- 12/ 6 協力員2人委嘱
- 12 時局講演会(竹谷 俊雄氏)
- 1/ 9 新春座談会(南風 洋子氏)
- 19 名画鑑賞会「笛吹川」
- 21 鈴鹿市立図書館より視察
- 浦安市立図書館より視察
- 2/ 1 第21回図書館まつり ～3/1
- 作家・評論家・芸術家などの筆蹟・横顔展 ～2/15
- 2 朗読の会(八木 光生氏・大岡 久仁氏・石村 昌子氏)
- 3 国立天文台・電気通信大学附属図書館を視察
- 4 名画鑑賞会「嵐林火山」
- 6 板橋区立高島平図書館・渋谷区立図書館を視察
- 文化講演会(大原 健士郎氏)
- 7 子ども映画会「宝島」
- 12 浦安市立図書館を視察
- 13 俳句・短歌展 ～2/28
- 座談会(杉山 義法氏・新井 春美氏)
- 14 人形劇公演(れもん座)
- 16 町田市立図書館を視察
- 日本画展 ～3/1
- 18 文芸対談「水・鳥……詩人たちは今」
- (大岡 信氏・俵 万智氏・白坂 道子氏)
- 19 山形市立図書館より視察
- 第21回市民句会
- 20 著者を囲む会(長部 日出雄氏)
- 22 時局講演会(山下 惣一氏)

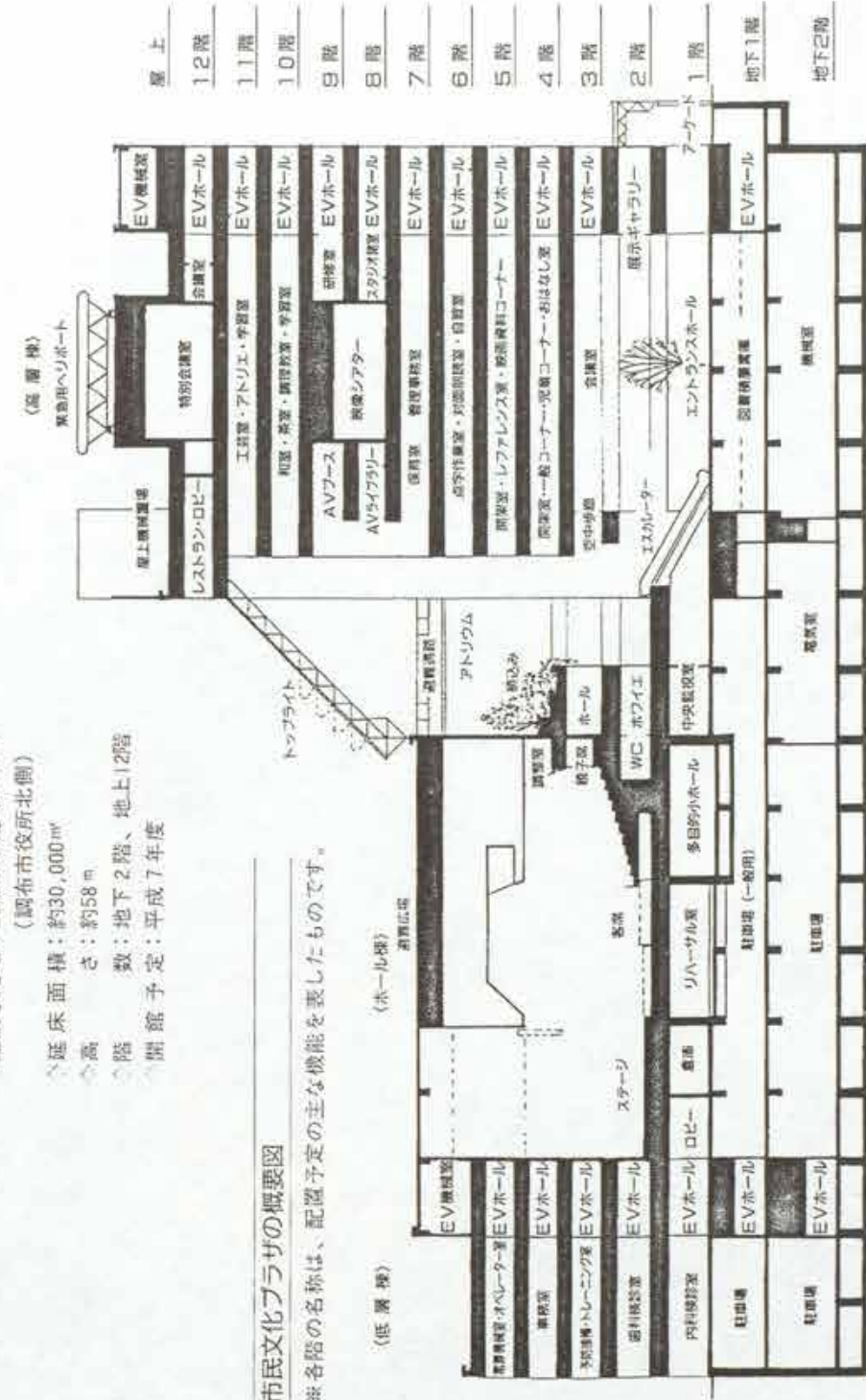
- 2/23 講演会 (佐高 信氏)
- 25 山形県立図書館・寒河江市立図書館を視察
- 26 児童文学講演会 (三田村 信行氏)
- 27 文芸講演会 (笹山 久三氏)
- 28 協力員1人委嘱
第20回市民歌会
- 3/ 9 オーストラリア・ニューサウスウェールズ州立図書館より視察
- 17 名画鑑賞会 「野菊の如き君なりき」
- 18 広島市立中央図書館より視察
- 25 文芸講演会 (前川 康男氏)

概要

- △建設予定地：鷹布市小島町2-33-1
(鷹布市役所北側)
- △延床面積：約30,000㎡
- △高さ：約58m
- △階数：地下2階、地上12階
- △開館予定：平成7年度

市民文化プラザの概要図

※各階の名称は、配置予定の主な機能を表したものです。





平成5年版
数字で見る図書館活動

平成5年9月30日 発行

編集・発行

調布市立図書館

数字で見る図書館活動編集委員会

〒182 調布市布田4-17-5

電話 0424(81)7661

印刷 株式会社

